

ノ費用並ニ殘額即チ後援会交付金ヲ以テ限界ト為ス「付則」酒精ハ衛生上有害物品ナルヲ以テ何国ノ貨物ニ論ナク調査シ責任ヲ以テ本部之ヲ禁止ス本規程ニテ完全ナルサル規程ハ臨時大会ヲ經テ之ヲ修正スルコトヲ得

右規程ヲ慎重討論ノ結果全員異議ナク議決シ亜テ吳敬之、徐宗民、鄒伯維、王震東、崔唯吾、文景星、宋雨田、王錫芹、陳香山、王蘭亭ノ十名ヲ委員ニ撰任表決シタリ同委員ヨリ吳敬之ヲ總委員長トシ又本部書記ハ成立ト共ニ商会書記ト交代シ近來商務繁忙トナリ其範圍逐日増大スルヲ以テ事務多忙ヲ極メ整理ニ暇ナキ勢ナルヲ以テ尚書記一名ヲ雇傭スルコトトシ俸給二十元内外ヲ給シ尚調査員ヲ國貨団經濟絶交同志会ヨリ五十名推挙スルコトニ取極メ議決規程ニ基キ明十五日火曜日午後三時ヨリ討論会ヲ再開スルコトトシ散会シタリ

(3) 揚子江流域及比華南

四九七 六月二日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ニ関スル南京学生ノ示威運動ノ際撤

前通過ノ際南京国民外交会ノ名ニ於テ小官宛ノ書状ヲ門番ニ手交シテ通り過キ英國總領事館門前ニ於テハ道路ニ机ヲ持出シテ演説ヲ為スモノアリシモ暴行ヲ為サス下関ニ至リ揚子江岸ニ出テ次第ニ解散セリ右小官宛書状ノ内容左ノ如シ

今回上海ニ於ケル英國巡捕ノ支那人慘殺事件ハ人道ニ反シ國權ヲ害ス南京市民ハ憤激ニ堪ヘス昨日全省市民大会ヲ開キ左ノ各条ヲ一致可決セリ

- 一、直ニ租界ヲ回収スルコト
- 二、直ニ領事裁判權ヲ取消スコト
- 三、被害支那人ヲ賠償撫恤スルコト
- 四、今回事件ノ責任者及下手人ヲ嚴罰スルコト
- 五、今回事件ニ關係アル国ノ政府ハ支那政府及上海市民ニ陳謝スヘシ

六、關係国政府ハ在支ノ自国民ヲシテ再ヒ斯ル暴行ヲ為サシメサルコトヲ保障スヘシ

七、日本内外棉会社ハ罷工職工ノ要求条件ヲ履行スヘシ

八、逮捕学生及商人ヲ直ニ釈放スヘシ

以上ノ条件ハ既ニ南京ノ英國總領事ニ提出シ同国政府ニ転

布セル伝單内容報告ノ件

第三三三号 (六月三日接受)

上海租界巡查ノ支那学生射殺事件ニ関シ六月一日以来当地学生ノ示威行列伝單撒布街頭演説等ヲ行ハレツツアルモ未タ乱暴ヲ為ス者ナシ伝單ノ主ナルモノハ「洋人同胞ヲ殺ス洋貨抵制シ之ニ對抗スヘシ日英海軍上陸シ同胞二十四人ヲ慘殺ス何レモ奮起力争セヨ洋人同胞ヲ殺セリ彼等ノ為メニ動クナカレ彼等ト取引スルナカレ」等ニシテ一般ニ排外熱ヲ煽リツツアリ

北京、上海へ転電シ漢口、青島、濟南、天津へ暗送セリ

四九八 六月四日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

南京学生ノ示威行動ニ当リ南京国民外交会ノ
名義ニテ我ガ領事ニ書状手交ノ件

第三五号 (六月五日接受)

往電第三四号ニ関シ

六月四日当地学生約五千名午前九時頃ヨリ城内ニ隊伍ヲ整ヘ下関ニ向テ進行シ沿道演説ヲ為シ又ハ伝單ヲ撒キ当館門

達シ貫ヒタルモ抑本件ハ日本内外棉会社ニ於テ支那人ヲ傷害セシコトニ起因シ其ノ原因ニ溯レハ日本モ亦相当ノ責任ヲ負ハサルヘカラス貴領事ニ於テモ注意ヲ加ヘラレンコトヲ切望ス云々

在支公使、上海ニ転電シ奉天、広東、福州、青島、濟南、漢口、宜昌、杭州、天津、蘇州ニ暗号ノ儘郵送セリ

四九九 六月四日 在長沙清水領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

長沙学生団ノ排日英デモ舉行決議ノ件

第一二号 (六月五日接受)

往電第一〇号ニ関シ

当地排英運動ハ三日午後ヨリ排英日ニ化シ多数ノ学生ハ市内各所ニ於テ日英ヲ対象トシ經濟断交其他対策ヲ講演力説スルト共ニ同様ノ伝單ヲ撒布シツツアリ尤モ英國ニ対スル報復性濃厚ナルモノノ如ク認メラル学生側ハ五日游街ヲ舉行スルコトヲ決議セリ

戒嚴司令ニ於テハ学生側ニ於テ各学校毎ニ其責任者ヲ定メ届出テ秩序ヲ案ササルニ於テハ之ヲ許可スル意向ナリ

北京へ転電シ上海、漢口へ暗送セリ

五〇〇 六月五日 在長沙清水領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

長沙学生等ノ反日感情ハ英国ニ対スルマデニ
至ラストモ相当激昂ノ様子ト観測セラルル件

第一三三號

(六月六日接受)

往電第一二二號ノ游街昨日ヲ限り許可セラレ朝九時ヨリ挙
行セラレ午後四時終了セリ小官ハ居留民保護ニ関シテハ六
一同様ノ措置ヲ執リタリ游街参加者学生ヲ主トシ職工、苦
力、番頭等約七八千人支那官憲ノ警戒嚴重ナリシ為事件ナ
クシテ止ミタリ
学生等ノ日英ニ対スル反感ハ支那官憲側ノ観測ニテハ英ヲ
主トシ日本ニ対シテハ左程ナラストノコトナルモ小官ノ見
ル処ニ於テハ英国ニ対スル迄ニハ至ラストスルモ日本ニ対
シテモ相当激昂シ居ルモノト認ム長沙ニ於ケル最近ノ排外
運動ニハ民党系ノ政治的意味モ含マルルニ付省政府ハ之カ
取締ニハ相当苦心シ其ノ第一策トシテ暑中休暇ヲ早メ学生
ヲ帰省セシムル方針ヲ執ラントシツツアリ尚当地ニ於ケル

第一七號

(六月六日接受)

往電第一六六號ニ関シ

四、五兩日領事団會議アリ(工部局当局及税関長参加)当
地ニ於ケル風潮悪化シ万一共同租界カ暴徒ニ襲撃セラレタ
ル場合ニ対スル防護方法ニ付種々意見ノ交換ヲナシタルカ
結局厦門ノ現状ニ付上海ヨリ煽動者入込メルコト排外「ボ
イコット」發生ノ虞アルコト等ヲ各領事ヨリ夫レソレ海軍
当局ニ電報シ置キ「ボイコット」發生ノ場合ハ各国海軍ノ
援助ヲ請フコトトシ別ニ租界内居住外国人ヲ以テ防衛団ヲ
組織シ万一ノ場合婦人小兒ノ避難攻究、建物保護ニ当ルコ
トトシ目下手配中ナリ右會議ノ際英米側ハ軍艦ノ来厦ヲ求
ムル案ニ余リ賛成セス主トシテ防衛団ノ力ニ依ラントスル
模様アリシモ本官ハ日本居留民ノ意向ヲ酌ミ殊ニ支那市街
在住七千籍民保護ノ必要上軍艦(脱)ヲ主張シ右様決定シタ
ル次第ナリ御含置迄ニ

尚右ノ次第馬公要港部ニ通報済

在支公使、上海へ転電シ広東、福州、汕頭へ郵報セリ

本件排日英運動ハ当分継続スルモノト認メラル
在支公使ニ転電シ上海、漢口ニ暗送セリ

五〇一 六月五日 在厦門井上領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

厦門ニ国民外交後援会組織サレ教育界ヲ中心
ニ各種排外宣伝開始ノ件

第一六六號

(六月六日接受)

未タ何等情報ニ接セサルモ当地ノ風潮漸ク具体化シ国民外
交後援会ナルモノ組織セラレ教育界ヲ中心トシテ各種宣伝
ヲ開始シ六日大規模ノ游行アル筈尤モ今日迄ノ処特ニ日貨
抵制ノ氣運ナキモ形勢樂觀ヲ許サス
在支公使、上海ニ電報シ台湾総督、広東、福州、汕頭ニ郵
報セリ

五〇二 六月五日 在厦門井上領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

領事団會議ニ於テ排外ボイコット対処ノタメ
軍艦ノ来厦ヲ求ムルコトニ決定ノ件

五〇三 六月六日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

鎮江ニ暴動起リ中国軍隊出動並ビ二同地へ軍
艦急派方要請ノ件

第三八號

本官發上海宛電報第二九號

六月五日夜鎮江ニ暴動起リ英租界無警察トナリ支那軍隊出
動シテ暴民ト衝突セリ往電第二八號末段同地へ軍艦急派ノ
件至急御手配ヲ請フ

大臣、北京へ転電シ奉天、広東、福州、天津、青島、濟
南、漢口、蘇州、杭州、蕪湖、九江、宜昌へ暗送セリ

五〇四 六月六日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

蕪湖ニ於ケル上海事件後援ノ示威運動情況報
告ノ件

第一八號

(六月七日接受)

六月六日蕪湖ニ於ケル上海事件後援ノ示威運動ハ学生団ノ
外十余団体之ニ参加ノ予定ニテ市中ニハ外国人襲撃ノ謠言

二 中国ノ排日排英運動狀況 五〇五 五〇六

サヘ行ハレ事態悪化ノ懸念アリ支那官憲モ非常ニ神経ヲ痛
メ昨夜交渉員、警察庁長、鎮守使參謀長及県知事ノ四名本
官ヲ来訪シ深更迄支那側防備ノ実情ヲ述ヘ本官ノ参考ニ資
シ且ツ意見ヲ求メ夫々実行シ来レルモ今朝来細雨降り示威
運動参加者モ途中ニ多数ノ落伍者ヲ出シ游行者ハ学生其他
約二千名ニ過キス領事裁判權租界撤廃及帝國主義打破ヲ連
呼市中ヲ練回リタルモ邦人側ハ勿論其他ニ何等被害ヲ見ス
正午無事解散シ市内モ一般ニ平靜ナリ
北京、上海ヘ転電セリ

五〇五 六月六日 在厦門井上領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

厦門市内ノ示威行動情況ニツキ報告ノ件

第二〇号 (六月七日接受)

往電第一六号ニ関シ

六日予定ノ通市内游行舉行セラレタルカ総員三千ニ滿タス
大部分中小学生ニシテ商會参加僅少各自手ニセル小旗ニハ
何レモ帝國主義反對國權回收ノ趣旨ヲ記シタルニ留マリ排
日又ハ排英の字句ヲ使用セルモノ極メテ稀ナリキ右行列進

傷支那人ニ對スル義捐金募集ニ着手スル筈ナリ

一、当地支那人經營織物会社緯成公司ニ於テハ日本人技手
及職工七人ヲ僱聘シ居ル処該公司經理ハ昨六日路上ニ於テ
学生団ニ取捲カレ日本人使用ノ有無ヲ詰問セラレ之ヲ否定
シタル由ナルカ該經理ハ事実ノ発覺ヲ恐レテ該日本人ニ對
シ一時日本租界内ニ立退方懇談スル処アリ本七日朝全部立
退キタリ

一、昨六日当地警察庁長小官ヲ来訪シ当館ニ對シ何等学生
ノ暴行事件アリタルヤ否ヤヲ質シタル上道路演説ノ寄付金
募集等ハ放任シ置クモ軌道ヲ逸スルカ如キ行動アラハ容赦
セサル考ナリト語リタリ

公使、上海ヘ転電シ青島、南京、蘇州ヘ暗送セリ

五〇七 六月八日 在福州栗原總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

福州学生団ハ排日の色彩ナク寧ロ排英ニ重キ
ヲ置カントスル傾向ノ件

第一六号 (六月九日接受)

当地学生団ハ上海同志応援ノ為五日各学校ニ迫リ同盟休校

二 中国ノ排日排英運動狀況 五〇七 五〇八

四六八

行中台灣銀行支店前ノ広場ニテ一回秩序乱レ銃声一、二聞
キタルモ秩序直チニ回復無事游行ヲ終レリ右発砲ニ就キ台
銀ヲ引合ニ出スモノアル模様ナルモ同店ニハ本官自ラ出張
シ居リ何等同店ニ關係ナシ右誤伝アルヤモ計ラレサルニ付
為念

右前記往電通報済

五〇六 六月七日 在杭州小田領事館事務代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

杭州一般商店ハ内々英日貨ヲ販売ノ旨並ビニ
学生団ノ示威活動等報告ノ件

第二六号 (六月八日接受)

機密郵電第二九号拙信ニ関シ

其ノ後ノ狀況左ノ如シ

一、当地方一般商店ハ端午節ヲ控ヘタル今日トテ現存ノ英
日貨ノ販売ヲ中止スルハ非常(脱)トテ内々之ヲ売居ルモ
ノノ如ク日英人ニ對シ交易拒絕ノコトモ之ヲ聞カス乍併学
生ハ今尚市内各所ニ散在シ夫々街上演説ヲナシ且重ナル工
場ニ對シテ罷業ヲ煽動シ居ル形勢アリ尚本七日ヨリ上海死

ヲ為サシメ七日早朝ヨリ約六百ノ男女学生市内ヲ游行シ伝
單演説等ニ依リ排外煽動ニ努メ商店モ五六分通休業シタル
カ武装軍憲ノ警戒殊ニ嚴重ニシテ何等事故ナク平凡ニ散會
シタリ尚学生団ハ十日ヲ期シ同市罷業ト共ニ学生商會合同
ノ示威運動ヲ敢行スヘク種々運動中ナル外ボツボツ外国人
使用人ノ罷業煽動モ始マリ人心穩カナラサルモノアルモ其
間殆ト從來ノ如キ排日の色彩ナク寧ロ英國排斥ニ重キヲ置
カントスルヤノ節アルハ注目ノ要アリ本官ニ於テモ万一ヲ
慮リ特ニ在留民各自ノ行動ヲ慎重ニ成行注意中ナリ

在支公使、上海ヘ転電シ青島、広東、厦門ヘ暗送セリ

五〇八 六月九日 在宜昌森岡領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海ヨリ罷業煽動ノタメ学生等宜昌ヘ到着ノ
件

第一三号 (六月十日接受)

上海事件ニ関シ当地欧米人側ノ情報ニ依レハ長江沿岸各開
港場ニ於ケル外国人事業關係支那人「ストライキ」煽動ノ
為上海ヨリ学生各地ニ入込ミ宜昌ニモ三十名到着セリトノ

コトニテ真偽不明ナルモ不取敢本官及ヒ英国領事ヨリ盧金山ニ對シ警戒方申出タル所慮ハ直ニ教育課長各學校長ヲ招集シ今後學生ノ言動嚴重監視方説示セリ尚慮ハ宜昌ノ関スル限り断シテ學生労働者ノ危害行動ヲ許サスト答ヘタリ
在支公使ヘ電報セリ

五〇九 六月九日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

蕪湖各会ノ示威運動計画ニツキ報告ノ件

第一九号

(六月十日接受)

当地外交後援会、商務總會及學生連合会ハ昨夜各會議ヲ開キ外交後援会ハ英日兩國人ニ使用セラレ居ル支那人ニ罷業ヲ勸告スルコト商總會ヲ煽テ英日貨ノ取引ヲ行ハサルコト英日兩國人ニ食料ヲ供給セサルコト六月二十日全市ノ総罷業ヲ断行シ同日示威運動ヲ舉行スルコト等ヲ決議セリ又商務總會ハ全市ノ罷業等ニハ反対ナルモ上海事件解決迄日英兩國ト經濟絶交ヲナシ兩國銀行ノ紙幣ヲ通用セシメサルコト(当地ニハ之ニ該當セルモノナシ)日英ノ商品ヲ購買セサルコト及上海ノ罷業職工ニ二千弗ヲ義捐スルコト等ヲ議

決セリ

北京、上海ヘ電報セリ

五一〇 六月九日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日本水兵ノ中国人毆打事件二件イ日本人旅館ニ學生等乱入並ビニコレニ對スル重慶官憲ノ措置振り報告ノ件

第二二号

(六月十日接受)

七日夜八時半頃軍艦比良ノ三等機関兵曹坂田秀吉酒氣ヲ帶ヒテ轎ニ乗リ日本人旅館有來館ニ來リタルカ同館門前ニテ轎夫ト争ヲ起シ轎夫ヲ毆打シ其面部ヲ負傷セシメタリ(重傷ニ非ス)然ルニ同所ハ相當雜間ノ場所ナルヲ以テ群衆蟻集シ且排日英運動ノ行ハレタル当日ノコトニモアリ該學生等ノ三々五々徘徊シ居タルモノ此ニ加ハルニ至リ約二百名ハ勢ヲ得テ遂ニ同館ニ侵入シ器物ヲ破壊シ掠奪ヲ縱ニシ約二時間ニ亙リテ暴行ヲ行ヒ折柄居合セタル軍艦比良主計長「イワツキザイ」(軍服ヲ着シ居ラス)ヲ引捕ヘ散々ニ毆打シ且之ヲ拉致シテ師範学校内ニ一時拘禁スルニ至レリ尚

其際同旅館ノ女中一名氣絶(九日意識恢復)シタルモ日本人ニハ他ニ負傷ナク支那人ニモ前記轎夫ノ外負傷者ナシ本官九時四十分右ノ情報ニ接シタルニ依リ直ニ巡查ヲ現場ニ急行セシメ一方町田書記生ヲ督軍常防司令及警察長ノ許ニ急派シ至急応急ノ手段ヲ講スヘキ旨要求セシメタル処日本留學生出身ニシテ予テ日本ニ好感ヲ有スル王常防司令ハ直ニ部下ヲ現場ニ派シテ暴徒ヲ解散セシメ物情靜穩ニ歸スル迄同館ヲ警衛セシメタルノミナラス王自身現場ニ出向シ町田ト協力シテ學生等ヲ説得シ同校ヨリ二時頃主計長ヲ同旅館ニツレ歸ラシメタリ主計長ハ数ヶ所ニ微傷ヲ受ケ目下靜養中ナリ(第二報九日午前十一時)

在支公使、上海、漢口、宜昌ヘ電報セリ

五一 六月九日 在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ノ影響ニヨル汕頭ノ排日英運動ニツ

キ報告ノ件

第一四号

(六月十二日接受)

上海事件ハ当地方ニモ甚大ナル衝動ヲ与ヘ八日各學校其ノ

他各団体ノ大示威運動アリ参加者七八千ニ達シ近來稀ナル猛烈ノモノニシテ主トシテ日英ヲ罵倒シ日英トノ經濟離脱ヲ叫ヒ更ニ一般排外熱ヲ煽リ血肉ヲ以テモ對抗セサルヘカラスト悲憤ノ氣勢ヲ揚ケタルモ要スルニ御祭騒キのニ終リ何等ノ実ナカリシモ或一部ニ於テハ日英貨排斥日英人使用人ノ罷業ヲ煽動シ居ルモノアリ形勢敢テ樂觀ヲ許ササル状態ナリ

北京ヘ電報シ上海、福州、厦門、広東、天津ヘ暗送セリ

五一 六月十日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶ノ不穩ナル形勢ニ備エ各国領事館及ビ軍艦トノ連絡ニ努メツツアル件

第二五号

(六月十一日接受)

新聞紙ノ煽動ハ日ヲ追フテ熾ナルモ集会ハ官憲ノ取締相當嚴重ナルモノノ如ク大仕掛ニ行ハルコトナシ然レトモ學生等ハ絶ヘス各所ニ小集ヲ催シ大道演説ヲ為シ居ル由ニテ邦人通行者ノ惡罵ヲ浴セラレタルモノ二三アルモ其後暴行ヲ加ヘラレタルモノナシ一方貴州軍ニ依ル掠奪起ルヘシ等

二 中国ノ排日排英運動状況 五一三 五一四

ノ謠言モアリ何時如何ナル事件ノ突発センモ保シ難キ情况ナルヲ以テ在留民ニ対シテハ嚴重ナル注意ヲ発シ小学校ヲ休業シテ警戒シ居レリ

尚当地ノ不便ナル地勢ニ鑑ミ英国領事館ト当館ト無線電信ヲ設置シ各国領事ト軍艦トノ連絡ヲ取りツツアリ

北京、上海、漢口ニ転電セリ

五一三 六月十日 在福州栗原總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

福州国民外交大会ニ於ケル市民示威運動決議

ニツキ報告ノ件

第一七号

(六月十一日接受)

一、七日ノ学生団遊行ニ次テ国民外交大会招集セラレ各界代表協議ノ結果十日ヲ期シ全市罷業市民示威運動等各項ニ対シ決議ヲナシ引続キ宣伝強迫行ハレ之ニ外国人迫害ニ関スル種々ノ謠言モ加ハリ欧米人中ニハ食糧ノ買込ヲ急ク向モ鮮カラス不安ノ念ニ驅ラレ居レリ

二、十日予定ノ通り電灯、電話ヲ除キ全市閉店休業スルト共ニ学生、商会ヲ始メ百七十余隊約一万ノ男女市内遊行

又邦人ニ対シテハ極力自重セシメツツアリ六月十日小官盧永祥ニ会见警告シタルニ既ニ手配中ニテ兩三日中ニハ漸次平穩ニ歸スヘキ見込ナリト語レリ

転電及郵報先前電同様

五一五 六月十一日 在宜昌森岡領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

宜昌学生ノ排日英示威運動ニ対スル中国軍警

ノ取締振り報告ノ件

第一六号

(六月十二日接受)

十一日上海事件ニ関シ宜昌学生六百余名ハ排日英示威行列ヲナセルカ軍警ノ取締リ峻厳ヲ極メ市内要所及行列ノ前後左右ニ多数ノ軍警ヲ付シ且ツ排外文字アル旗等ノ携帯ヲ嚴禁セリ尤モ排日英伝單多数撒布セラレタリ

北京ニ電報セリ

五一六 六月十一日 在重慶加来領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

四川省長等ヨリ嚴シク示威運動取締ルベキ旨

二 中国ノ排日排英運動状況 五一五 五一六 五一七

四七二

ヲ開始シタルカ左シタル喧噪モ見ス解散シタリ
公使、上海へ転電セリ

五一四 六月十一日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

南京学生団ノ外人雇用中国人ニ対シ罷工宣伝

ノ件

第四三号

六月十日夕方迄男女学生ノ伝單配布排日英宣伝及寄付金募集等前日ト同シ路上宣伝者ハ外人ニ危害ハ加ヘス唯外人使用支那人ヲ迫害スヘシト宣伝シ同日学生団ニ呼出サレタル当館使用支那人代表ニ対シ英米兩國領事使用支那人ト連絡シ一日モ早く罷工セヨト命シタル由ナリ兩三日来下関日清汽船(船)ノ人夫ニ対シ付近ニ駐在スル奉天軍兵士等罷工ヲ宣伝シツツアリ六月十日日清汽船鳳陽丸乗客(支那人)ニ対シ学生労働者等惡罵妨害ヲ加ヘタル由英米煙公司ノ広告塔及看板ヲ破壊セルヲ見受ク学生団連日ノ寄付金募集ニ対シテハ一般商人ノ怨嗟ノ声ナシ在留邦人ノ日用品買入妨害使用支那人ニ対スル脅迫ニ対シ其都度支那警察ニ警告シ

回答並ビニ新聞紙ニ日英兩國領事ニ対シ痛烈

ナル非難ノ記事アリタル件

第二九号

(六月十二日接受)

本官及英国領事ノ曩ノ申入ニ対シ省長ヨリ嚴ニ集会ヲ取締リ新聞紙ノ妄動ヲ制スル様努力スヘキ旨回答アリ王常防司令ハ八日「軍事多端城内戒嚴ノ下ニアリ各種ノ集會民衆運動ハ其ノ性質及目的ノ如何ヲ問ハス之ヲ絶対ニ禁止ス」トノ布告ヲ發シ嚴ニ示威運動ヲ取締リ居ルモ学生ハ依然トシテ大道演説ヲ行ヒ居レリ尚新聞紙ハ九日以来本官並英国領事カ支那官憲ヲ脅迫シ官憲ハ日英兩國ノ走狗トナリテ言論ノ自由ヲ压迫セントスト悲憤不穩ノ文字ヲ並ヘテ本官及英国領事ヲ盛ニ非難シツツアリ

北京、上海へ転電セリ漢口ニ暗送セリ

五一七 六月十一日 在厦門井上領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

厦門ノ排外運動ハ持久戰ニ入り未ダ本邦品ボイコットノ例ヲ聞カザル件

第二三号

(六月十二日接受)

四七三

往電第二一號ニ関シ

(一)其ノ後当地ノ運動ハ多少過激ナル説ヲナスモノアルモ大体ニ於テ持久戦ニ入り日英貨ノ抵制日英銀行トノ絶交ヲ唱ヘ同時ニ上海義捐金募集等消極の方法ヲ執リ来リタルモ今十一日迄ノ処本邦商品ニ対シ實際ニ「ボイコット」シタル例ヲ聞カサルモ台湾銀行支店ト支那錢莊トノ取引ハ杜絶ノ状ニ在リ

(二)工部局ハ往電第一七号防衛団手続ノ進行ヲ見合ハセタリ
(三)往電第二一號代表者本官来訪後英國領事往訪同趣旨ノ申入ヲナシタルニ同領事ハ本件ハ共同租界ノ關係ニシテ英國ノミヲ責ムル能ハス云々ト述ヘ其後一、二回前記代表ニ会见ヲ申込ミタルモ後援會ニテハ其ノ要ナシト拒絶シタル趣ナリ

(四)此數日來一、二新聞ノ調子一変シ日英兩國攻撃ノ鋒ヲ主トシテ英國ノミニ向ケ出シタル觀アリシカ十日学生及労働界ノ大立物ニシテ且ツ今次当地行動ノ中心人物タル二名ノモノ内密ニ本官来訪語リタル処ニ依レハ上海事件ハ其ノ発端コソ日本工場ニ關係アルモ問題ハ工部局ノ英國人カ空手ノ学生団ニ発砲シ之ヲ殺戮シタルコトニ集中セ

ラルヘキ次第ハ各般ノ情報ニ依リ明白トナリタルヲ以テ当地ニ於ケル運動ハ自今主トシテ英國ヲ目標トスル考ニテ其ノ運動方法ハ成ルヘク消極的方法ヲ執リ何等過激ニ出テサル積リナルカ英國ヲ對手トスル關係上勢ヒ多少ハ日本ニモ及フコトアルヘク御諒解置ヲ請フト述ヘ且ツ右様ノ次第ナルニ付当地領事団ニ於テハ成ルヘク強硬ナラサル態度ヲ執ラレタキ旨陳述シタリ尚近々当地ヨリ上海ニ代表ヲ送り右ノ趣旨ニテ運動セシムル趣何等御参考迄ニ

北京、上海へ転電セリ福州、汕頭、広東へ暗送セリ

五一八 六月十二日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口英租界ニ於テ暴動起コリ英米仏ノ陸戦隊等出動並ビニ邦人ノ被害ニ関シ報告ノ件

第五四号

六月十日夕景英租界ト支那街ノ境ニアル太古洋行埠頭ニ於テ倉庫番人ト埠頭苦力ノ間ニ小衝突アリ大事ニ至ラスシテ止ミタルカ十一日夕刻ヨリ同地付近ニ集合セル群集カ英租

界印度巡查ニ投石セルヲ切掛トシテ英租界ニ属スル群集ノ暴行漸次激烈ヲ加ヘ英、米、仏等ノ陸戦隊及義勇隊出動シ英露仏租界防備ニ当リタルカ九時頃ニハ英租界ノ北方支那街ニ沿ヘル方面ハ暴徒ノ猛烈ナル投石及暴行ヲ受ケ破壊セラレタル商店多數ニ上リ十二時ニ至ルモ止マス英國領事ヨリハ支那官憲ニ交渉シ鎮守使ヨリ多數ノ軍隊ヲ租界ノ周圍ニ出動保護セシムル事トナレリ此ノ暴動ノ結果同租界ニ在リテ破壊ヲ受ケタル邦人商店數軒アリ負傷邦人亦數人ニ上レリ日本租界ハ無事

北京、上海、天津、長沙、沙市、九江、宜昌、重慶、南京、蕪湖ニ転電セリ

五一九 六月十二日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口英租界ノ暴動ニヨリ邦人商店八軒ノ破壊並ビニ負傷者中一名死亡ノ件

第五五号

往電第五四号ニ関シ

支那軍隊出動ノ結果夜半ニ至リ暴徒ハ解散シタルカ英租界

二 中国ノ排日排英運動狀況 五一九 五二〇

ニ在リシ邦人商店ノ破壊セラレタルモノ八軒ニ上リ負傷邦人数名ノ内水谷国治(三重県桑名郡今一色町)重傷ヲ負ヒ零時半ニ至リ終ニ死亡セリ

英租界ノ北方支那街ニ沿ヒタル部分ハ支那人商店連リ其ノ内ニ前記ノ邦人商店存在シ居リ充分ノ防護懸クル能ハス乍遺憾前記ノ不幸ヲ見ルニ至リ此ノ報道ノ結果防備隊ノ機關銃ニ依リ射殺セラレタル支那人ニシテ既ニ判明セルモノ六名アリ

尚支那街居住ノ同胞ノ今後ノ安否危マルルヲ以テ出来ル丈ケ避難セシムルコトトセリ

在支公使、上海、天津、長沙、沙市、九江、宜昌、重慶、南京、蕪湖へ転電セリ

五二〇 六月十二日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口英租界ノ暴動ニヨル邦人商店ノ被害等報告ノ件

第五六号

往電第五五号ニ関シ

破壊セラレタル邦人商店八軒ハ左ノ如シ

大江洋行、栄信洋行、日比野洋行、安記洋行、大豊洋行、

真崎洋行、堀井膳写堂、東孚洋行

尚負傷者ハ死亡セル水谷ノ外重傷二名（生命ニ別条ナカル

ヘシ）軽傷三名アリ皆湖北路通行中ノ被害ナリ

北京へ転電ス

五二一

六月十二日

在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

漢口英租界ノ暴動ニヨル我方ノ被害視察並ビ

ニ中国側ノ邦人被害ニ遺憾ノ意表示ノ件

第五七号

（六月十三日接受）

往電第五四号邦人商店被害ニ関シ不取敢支那ノ立会ヲ求メ

十二日早朝詳細ノ視察ヲ為サシメ水谷ノ嗣子及入院中ノ負

傷者ヲモ見舞ハシメタリ胡交渉員ハ蕭耀南ノ命ヲ奉シ午前

十一時来訪邦人ノ被害ニ関シ遺憾ノ意ヲ表セリ

北京へ転電セリ

北京へ転電セリ

五二三

六月十二日

在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

領事會議ヲ開キ英租界事件ニ対シ蕭督弁ニ公

文發出方議決ノ件

第五九号

（六月十三日接受）

六月十二日領事會議ヲ開キ十一日夜ノ事変ハ支那側ノ取締

リ不十分ナリシ為暴徒英租界ニ闖入シタルモノニシテ責任

ハ支那側ニアリ依テ今後支那官憲ニ於テ十分ナル取締リヲ

加フルト同時ニ加害者及暴行者ヲ検挙嚴罰スル様首席領事

ヨリ蕭督弁宛公文ヲ発スルコトヲ議決セリ

五二四

六月十二日

在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

漢口英租界事件ニヨル邦人ノ財産上ノ損害ニ

関シ報告並ビニ中国側ニ対スル交渉振リニツ

キ回電方稟申ノ件

第六〇号 至急

（六月十三日接受）

五二二 六月十二日

在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

漢口英租界事件ノ外国人被害者ハ殆ド邦人ナ

ルコト並ビニ警備ノタメ陸戦隊百二十名揚陸

ノ件

第五八号

（六月十三日接受）

往電第五四号ノ事件ノ外国人被害者ハ殆ト総テ日本人ニシ

テ他ノ被害外国人ハ英国人数名輕傷者アリシノミナリ之レ

湖北路以北ニハ本邦人以外外国人居住セザリシカ為ニシテ

同方面ハ初メ英国義勇隊之ヲ守備シ居レルモ暴徒ノ勢強ク

為ニ九時頃ヨリ退却ノ已ムヲ得サルニ到リ後十一時頃支那

軍隊ノ英租界内出動ニ到ル迄完全ニ暴徒ノ蹂躪スル処トナ

レリ水谷等カ暴行ヲ受ケタルハ九時半頃湖北路通過中ニシ

テ十時半頃ニ到リ暴徒ノ勢猖獗ヲ極ムル為英國義勇隊ハ果

次機関銃ヲ発射シ之カ為支那人四名ヲ射殺シ数名ヲ傷クル

ニ到レリ目下支那官憲ニ於テハ各租界ノ境界ニ軍隊ヲ派シ

警備中ナルカ種々ノ謠言多々アリ日本租界ニモ何時波及ス

ルヤ測ラレサルヲ以テ十二日午後四時ヨリ義勇隊ヲ召集シ

陸戦隊百二十名ヲ揚陸シ警備スルコトナレリ

十一日夜英租界事件ニ依リ被レル邦人ノ損害ハ大体既ニ電報セル通ナルカ財産上ノ損害ハ未タ見當付カサルモ少ク共数万弗ニ上ル見込ナリ本件ハ英租界ニ於テ支那軍隊ノ租界内出動以前ニ發生シタル事件ナルヲ以テ責任ノ帰属如何ノ問題ヲ發生スヘキニ付支那側ニ対スル交渉振ニ関シ至急何分ノ御回電アリタシ

在支公使へ転電セリ

五二五

六月十三日

在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

英租界事件ノ際機関銃ニヨル中国人射殺ガ一

般中国輿論ニ及ボス影響ヲ恐レ中国官憲ノ租

界、要所ノ警備嚴重ナル件

第六一号

（六月十四日接受）

十二日ハ前夜ニ引続キ英、露、仏三租界共嚴重ニ守備サレ

タルカ税関付近ニ於テ午前中一、二ノ小衝突アリタルノミ

ニテ無事ナリシモ前夜ノ機関銃ニヨル支那人射殺カ一般支

那輿論ニ及ボス影響ヲ恐レ支那官憲ニ於テハ鎮守使所屬軍

隊及湖北第二師ノ一旅ヲ警備ニ備ヘ各外国租界ノ境界及支

那街要所一帶ヲ嚴重ニ守備シタル結果平穩ナルヲ得タリ日本租界ハ無事(十三日午前十一時)

転先往電第五四号ノ通

五二六 六月十三日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口英租界事件ニ対スル中国官憲ノ責任ニ関
シ首席領事ヨリ蕭督并宛公文發送ノ件

第六二号 (六月十四日接受)

往電第五九号首席領事ノ公文ハ十三日蕭督并ニ發送致サレタルカ本官モ亦不取敢省長及交渉員宛十一日夜ノ邦人被害状況ヲ述ヘ一昨年来引続キ排日本行動ノ嚴重ナル取締ヲ要求シ居タルニ拘ラス斯ノ如キ不祥事ヲ發セルハ真ニ遺憾ニシテ支那官憲ノ責任極メテ重大ナルコトヲ照会シ置ケリ
公使ヘ転電セリ

五二七 六月十三日(着) 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海事件ニ関連シ重慶地方不穩ノ形勢濃厚ナ

第三一号 (六月十五日接受)

往電第二五号及第二九号ニ関シ

(一)有來館事件漢口騷擾ノ影響ヲ受ケ形勢惡化ノ兆アルヲ以テ居留民会ト協力シ非常時ニ処スル手配中ナルカ当地ハ万一ノ場合避難ノ場所ナキニ付民会ノ希望ニ從ヒ十四日入港ノ宜陽丸ニ出港停止ヲ命シ不取敢婦人小兒ヲ收容セシムル予定ナリ英國ハ既ニ 船一隻ヲ停止セシメ居リ歐米人ハ事實上城内ヲ引払ヒ対岸ノ住宅区域ニ集中シ居レリ目下在泊ノ外国軍艦仏國二英國二(更ニ一隻來港中)ナリ

(二)本日重ネテ王司令ト会见万一ノ場合ニ於ケル居留民保護ニ関シ打合ヲ遂ケタルカ其際王ハ新聞紙上ノ議論及演說ニ依リ相当安全弁ヲ与ヘ置クコトハ此際已ムヲ得サル方法ナルモ引続キ学生ノ代表及新聞当局ト懇談シ激越ニ亘ラサル様撃肘ヲ加フヘク又集会ノ禁止ハ益々嚴ニシ暴行ハ武力ヲ以テ之ヲ制スル準備ヲ為シ居リ現ニ日本人ノ住宅付近ニハ特ニ兵ヲ巡邏セシメテ警戒シ居ル趣ヲ談レリ同司令カ今回嚴重ナル取締ヲ断行シツツアルニ對シ学生等ハ之ヲ非難シ初メタル由ナリ

ルニヨリ劉督并等ト在留外人及ビ通商保護ニツキ懇談ノ件

第三〇号

上海事件ニ関連シ当地ニ於テモ各新聞紙ノ盛ニ排日英運動ヲ煽動スルアリ学生労働団体等亦示威運動ヲ催ス等漸次不穩ノ形勢濃厚ト成リツツアルヲ以テ英國領事ト協議ノ上六日領事団會議ヲ召集シ各国居留民並通商保護ニ関スル手筈ヲ協定シ且ツ本官並英國領事ハ領事団ヲ代表シテ劉湘督并及王常防司令ヲ訪問シ在留外国人及通商ノ保護ニ付懇談ヲ遂ケタルカ王ハ今後各団体ノ集会ヲ禁止シ新聞紙ノ「プロパガンダ」ヲ掣肘シ治安保持ノ為十分努力スル所アルヘキ旨ヲ確約セリ目下ノ所市中平靜ナリ
北京、上海ヘ転電セリ

五二八 六月十三日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶ノ形勢惡化ノ兆アルニツキ邦人ノ避難方
手配中ナル旨並ビニ邦人保護ニツキ王司令ト
会见ノ件

(三)貴州客軍袁祖銘ノ參謀長劉某ナルモノ外交後援会ノ幹事トナリ学生ノ煽動ニ努メツツアルヲ以テ同人並四川当局ニ抗議シ置ケルカ袁祖銘ハ四川軍閥ト對抗上人心ヲ収攬ノ必要アリ其無責任ナル地位ヲ利用シ斯ノ如キ挙モ出テ居ルモノノ如ク排外運動費等モ此方面ヨリ出テ居ルニアラスヤト憂慮サル

四万県ハ目下ノ処平穩ナリ危急ノ際ハ米艦ニ避難スル様米國領事ノ諒解ヲ得テ伊地知ニ電報シ置ケリ
北京、上海、漢口、宜昌ヘ転電セリ

五二九 六月十四日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口事件ハ英租界内ニ發生セルモノニテ中国
側ノ力ノ及バザル所ナル旨交渉員回答ノ件

第六四号 (六月十五日接受)

往電第六二号本官ノ照会ニ對シ十四日付胡交渉員ヨリ回答アリ要領左ノ通り
上海事件ノ影響ノ結果無智ノ群衆カ日本人商店ヲ破壊シ日本人ヲ殺害死傷セシメタルハ本交渉員ノ深ク遺憾トスル所

ナルカ本件ハ英租界内ニ於テ發生シタルモノニシテ支那側ノ力ノ及ハサル所ニシテ事件責任ノ帰着ハ将来定論アルヘク貴総領事ニ於テモ御了解ノコトト存ス云々
北京へ転電セリ

五三〇 六月十五日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

蕭督弁ノ排外示威行動禁止命令並ビニ罷業情
況ニツキ報告ノ件

第六六号

(六月十六日接受)

其ノ後当地ノ状況ハ警備嚴重ナル為一般ニ平穩ナリ蕭督弁ハ各機關ニ対シ此ノ際一切ノ排外示威の集会及行列等ヲ禁止スヘキ旨命令ヲ下シタルモ学生等ハ尚伝單ノ配布罷業ノ煽動等ヲ怠ラサルヲ以テ今後一般ニ秩序恢復セラルトモ外人使用職工ノ罷業等ハ漸次増(加)スヘキ虞アリ目下当地ニテ罷業中ノ外国人工場ノ主ナルモノハ太古洋行埠頭苦力英米煙草和記洋行等ナルカ漸次邦人工場ニモ伝染セントシ既ニ昨日ヨリ租界内ノ我印刷工場及新聞社ノ職工数十名ハ時節柄危険ヲ名トシテ罷業シ居レリ

五三二 六月十五日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

南京学生及ビ労働者ノ邦人ニ対スル妨害激烈
ノタメ婦女子ヲ領事館ニ收容方準備中ノ件

第四五号

十三日以来路上ニ於ケル寄付金募集ヲ停止セルモ学生及労働者ノ示威運動毎日繰返サレ十二日市中ノ視察ニ赴キタル大河原署長ノ馬車ハ邦人商店訪問中学生ニ奪ハレ支那警察ニ交渉ノ上取返シタルモ馬車ヲ破壊サレ馬夫ハ殴打セラレタリ

一般馬車人力車ハ今尚邦人ヲ乗セス邦人商店ニ対スル妨害止マサルタメ城内ノ邦人何レモ閉店シ居ルモ食糧及ヒ飲料水ノ買入レヲ妨害セラレ兩三日以来夜中支那警察保護ノ下ニ水ヲクミ入レ食糧ハ僅ニ邦人間ニ於テ互ニ工面シツツアリ然ルニ漢口九江ノ事件報道セラレ学生ノ運動再ヒ激烈トナリ邦人ノ不安甚タシキタメ模様ニヨリテハ市街繁華ノ地ニアル婦女子三十余名ヲ当館ニ避難セシメ更ニ不安ノ場合ニハ約十家族五十余名ヲ收容スルコトトシ目下準備中
転電及郵報先前電同様

尚大治、鄭州、常德等ハ十四日迄ハ平穩ナリ(十五日午前十一時)
北京へ転電セリ

五三一 六月十五日 在福州葉原總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

九江事件ノ福州ニ及ボセル影響ニツキ報告ノ
件

第一八号

(六月十六日接受)

十五日朝九江暴動事件ニ関スル東方電報ニ接シ且ツ英國領事館ニ於テモ北京公使ヨリ右同様ノ公電アリタル趣ナルニ付不取敢周督弁ヲ往訪在留民ノ保護方交渉シタル所之ヲ快諾シ外国人居住区域ニ配置シアル軍隊ヲ二連約二百五十人ニ倍加スルト共ニ領事館督弁公署及右軍隊間ニ直通電話ヲ架設シ万一ニ備フヘク且ツ学生団ノ主ナルモノヲ呼寄せ輕拳妄動ヲ慎シム様戒告ヲ与フヘキ旨嚴命セリ尚学生団ハ引續キ日英貨排斥ヲ企テ外国人使用人ニ対スル罷業煽動脅迫ニ努メ居ルモ在留民モ未タ左程困難ヲ感シ居ラス

五三三 六月十六日 在宜昌森岡領事宛(電報)

罷業不参加者ニ保証ヲ与ウルハ却テ学生団ヲ
刺激スルニツキ寧ロ中国官憲等ト便宜方法ヲ
攻究スルヲ要スベキ件

第八号

貴電第一五号ニ関シ契約ノ認證ハ貴官ノ裁量ニヨリ取計ハレ差支ナキモ此等支那人ニ対シ如何ナル場合ニモ絶対的ニ保護スルノ問題ハ實際至難ナルノミナラス斯ル保証ヲ与フルニ於テハ却テ興奮セル学生団ヲ刺激スルニ止マリ効力疑ハルルモアリ寧ロ彼等ヲ安心セシムル為ニハ支那官憲商務總會其他ト便宜方法ヲ攻究スルヲ要スヘキモノト思考ス日清汽船ト打合済

五三四 六月十六日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中国側ノ排外行動取締並ビニ交渉員ヨリ英国
領事宛中国人射殺ノ責任ニツキ抗議提出アリ
タル件

第六八号

当地ハ其後支那側ノ嚴重ナル警戒ニ依リ引続キ平穩一般人心又安定ニ向ヒツツアリ支那官憲ニ於テハ十三四兩日間ニ共產主義ニ染リ暴行煽動ノ虞アル者数名ヲ検束シ且新聞記事ニモ煽動的ノモノヲ差止メタル為形勢漸次緩和セラレツツアリ

尚十一日ノ事變ニ関シ十四日交渉員ヨリ英國領事宛支那人射殺ノ責任ヲ問ヘル抗議ヲ提出セル為同領事ハ十五日詳細ニ事實ヲ指摘シテ之ヲ反駁シ責任ノ全然支那側ニアルコトヲ弁明セル公文ヲ交渉員ニ送致セリ

在支公使へ転電セリ

五三五

六月十六日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

排外運動ニ備エ租界ニ少数配兵ノ旨並ビ二外
國人保護ニ尽力セル王司令ニ表謝方ノ件

第三二二号

(六月十七日接受)

(一)排外運動ヲ目的トセル団体ノ組織八大新聞ノ論調益々激烈ニシテ開戦論又ハ各種ノ不穩伝單配布セラレ各軍ノ諸

將又大概硬論ヲ唱ヘ暗ニ学生ヲ使喚スルモノアルヲ以テ本官ハ重ネテ各責任官憲ニ抗議シタルカ各人共全力ヲ尽シ保護ノ責ニ任スル旨回答セリ本官ハ飽ク迄陸戦隊ノ上陸ヲ避ケ全責任ヲ支那側ニ負ハシムル方針ニテ行動シ居レリ但租界ニハ少数ノ兵員ヲ上陸セシメ置ケリ

(二)前記ノ通各派各軍ノ領袖人氣取ニ没頭シ居ルニ不拘常防司令王陵基ハ唯一人嚴然トシテ之ニ組セス本日モ更ニ長文ノ布告ヲ發シテ外國人保護ノ嚴令ヲ宣布シ平服巡邏兵ヲ本邦人商店付近及日本船舶ニ派シテ警備セシムル等誠ニ賞賛ニ値スル態度ヲトリツツアルヲ以テ本件落着後ハ同人ニ贈勲等ノ方法ヲ以テ感謝ノ意ヲ表セラルル外此際北京政府ニ同人ノ好意ヲ感謝シ置カルル事ヲ得ハ当方面ニ於テハ益々便宜アルヘシト存ス尚英國領事モ王ニ対スル感謝ノ方法ヲ講スル考ナリト語レリ

在支公使へ転電セリ

五三六

六月十六日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

在留民ノ引揚げ、避難等ニツキ英國領事ト協
調ノ件

第三三三号

(六月十七日接受)

(一)其後当地ノ形勢ハ些モ緩和セラレス人氣險惡ニシテ外國人ノ通行危險ナリ十五日午後税関員二名(瑞典人及英國人)群衆ニ毆打サレ轎ヲ破壊セラレタルカ輕傷ヲ負ヒタルニ止マレリ

(二)領事館及日本人ヲ襲撃スヘシ等ノ謠言頻々タルノミナラス当館ニハ脅迫狀盛ニ舞込ミ居レリ且城外及對岸ニハ約六萬ノ敗殘兵アリ城内ノ治安維持何時破レテ混亂ニ陥ラシメ計リ難キ形勢ナルヲ以テ本日午前比良艦長ト打合セノ上御真影及電信符号(一、二ヲ除キ)ヲ同艦ニ移シタル

(三)十六日午後英國領事來訪同館ノ使用人等脅迫サレ出勤セス且夜陰投石スル等危險極リナキニ依リ明十七日領事館ヲ引揚ケ英國砲艦ニ移ス予定ナル趣ヲ語レリ
本官ハ今日迄常ニ各國領事ト協調ヲ保チ在留民引揚避難等ハ各國人同時ニ之ヲ行フヘキ旨提議シ特ニ英國領事トハ終始行動ヲ共ニシ來リタルモ英國人カ既ニ各人自發的ニ城外ニ避難シタルニ反シ本邦人ハ未タ大部分城内ニ留マリ居ルヲ以テ領事館引揚ニ関シテハ行動ヲ共ニシ難キ

事情ヲ説明シ今後モ協調ヲ破ラサル様懇談シ置ケリ
尚当館ノ門前ニモ一二回野次馬打寄せ正門ニ投石セルモ子供ノ惡戯位ノ程度ニ過キス
公使、漢口、上海、宜昌へ転電セリ

五三七

六月十七日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口英租界ニ發生セル本邦人被害事件ハ中国側
ノ排日運動不取締ノ結果ニヨル旨交渉員宛照
会シタル件

第七〇号

往電第六四号ニ関シ

被害ノ翌朝撮影セシメタル写真及死傷者ノ診斷書等出揃ヒタルヲ以テ本官ハ十六日更ニ交渉員宛本件ハ英租界ニ於テ發生セル事件ナルモ支那官憲ニ於テ排日運動ヲ取締ラサル結果生シタルモノニシテ其ノ責任支那政府ニ在ルコトヲ述ヘ政府ノ訓令ヲ待チテ更ニ交渉スル所アルヘキヲ付言ス被害商店ノ損害額ハ目下至急調査中ナルヲ以テ数日中ニ判明スヘシ

在支公使へ転電セリ

五三八 六月十七日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

英租界事件ニヨル邦人被害者ヨリ損害賠償乃
至救済資金貸下ゲニツキ嘆願書提出ノ件

第七一号

(六月十八日接受)

十一日ノ事変ニテ最大ナル損害ヲ蒙レル邦人商店八軒ノ内
大部分ハ支那人ヲ得意トスル所謂中産階級ノ独立経営者ニ
シテ居留民中ノ最善ナル部分ニ属スル処今回ノ被害ハ殆ン
ト彼等ノ営業ニ対シ致命傷ノモノナリト云フモ不可ナク同
人等ハ至急相当ノ損害賠償ヲ得ルカ然ラサレハ応急ノ救済
資金貸下ヲ得ルニ非スンハ破壊店舗ノ整理ハ勿論生活サヘ
困難ナル趣ヲ以テ本官宛嘆願書ヲ提出シ来レリ本官ハ之ニ
対シ損害賠償ノ件ハ必シモ当地ニ限ラス從テ政府ノ訓令ヲ
待チテ交渉スヘク救済資金貸下ノ件ハ政府ノ受付クヘキ筋
合ニアラスト思考スルモ被害者ノ窮状ハ同情ニ堪ヘサルヲ
以テ上司ニ進達スヘキ旨答ヘ置ケリ就テハ同人等ノ救済ニ
関シ若シ何等ノ方法アラハ特別ニ御詮議アリタシ
北京ニ転電セリ

五三九 六月十八日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

我ガ総領事館書記生二名、巡查一名英租界事
件ノ際負傷ノ件

第七二号

貴電第一七号ニ関シ

吉竹加藤両書記生及高橋巡查ハ十一日午後十時過自働車ニ
テ英租界ヲ通行中暴徒ヨリ瓦石ヲ投セラレ吉竹ハ頭部ニ輕
傷(治療約一週間)ヲ負ヒ加藤高橋ハ各手ニ擦過傷ヲ負ヒ
タルカ往電第五六号ノ負傷者中ニハ吉竹ノミヲ加ヘタリ

五四〇 六月十八日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日本租界ノ警備ヲ漸次弛メツツアル旨並ビニ
我ガ方関係ノ罷業解決ニツキ報告ノ件

第七三号

当地其後支那官憲ノ取締嚴重ニシテ人心漸次安定セルヲ以
テ日本租界ニ於テハ十八日ヨリ陸戦隊ヲ三分ノ一ニ減シ歩
哨ヲ廃シ租界内巡察ノミニ止ムルコトセリ英仏露租界モ

漸次警備ヲ弛メツツアルモ夜間ハ依然歩哨ヲタテ居レリ我
カ印刷職工及 White away 店員等ノ罷業解決シ十八日ヨ
リ復業セリ支那街ヨリ租界ニ移レル我カ避難民モ漸次復帰
シツツアリ
北京へ転電ス

五四一 六月十八日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

七国領事同道ニテ外國人ノ生命財産保護ニ関
シ蕭督弁ト折衝ノ件

第七四号

(六月十九日接受)

当地領事団ハ十日夜ノ事変ニ顧ミ外國人ノ生命財産保護ニ
関シ親シク督弁蕭耀南ニ折衝スルノ必要ヲ認メ十八日午後
日、英、仏、米、伊、独、白七国領事連袂武昌ニ蕭督弁ヲ
訪問シ先ス首席米國領事ヨリ訪問ノ趣旨ヲ述ヘ外國人ノ保
護ヲ要求シ次ニ本官ハ過去二年ニ亘リ排日運動取締ヲ要求
シ来レルニ拘ハラス取締不徹底ナル為メ邦人ニ対スル支那
人間ノ人氣險惡トナリ十一日夜ノ如キ不幸ナル事変ヲ發生
スルニ至レリ就テハ当地方ニ於ケル排外宣伝ヲ嚴禁シ外国

人生命財産ノ保護ヲ全カラシム事ヲ望ミタルニ督弁ハ日
本人被害ハ同情ニ堪ヘサルヲ以テ直ニ交渉員ヲ派シテ遺憾
ノ意ヲ表セシメタル事及右事変ハ英租界ナリシ為如何トモ
スル能ハサリシ事ヲ答ヘ夫レヨリ英國領事ハ今回ノ事変カ
全ク支那側ノ惡宣伝ニ因リ起リ数回ノ取締ヲ要求セルモ支
那側カ応セサリシ事及之等不取締ノ結果各地ニ起リツツア
ル事例ヲ詳細ニ陳述シ今回ノ事変ニ関シ支那側ハ自己ノ抗
議書ヲ新聞ニ發表シタルモ英國側ノ反駁書ヲ公表セサル不
都合等ヲ指摘シタルモ督弁ハ之ニ首肯セス唯今後外國人保
護ヲ充分ニスヘキ事ノミヲ繰返シ二時間ニ亘リ押問答セル
モ要領ヲ得ス各領事ハ不満足ナカラ其儘ニテ帰還セリ
公使へ転電セリ

五四二 六月十八日 在宜昌森岡領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口ヨリ宜昌ニ立寄タル学生ノ罷工排貨煽動
ニツキ報告ノ件

第一七号

(六月十九日接受)

昨日漢口ヨリ支那学生三百名暑中休暇帰省ノ途次当地ニ立

寄リ「ストライキ」「ボイコット」ヲ煽動シ初メタル為メ形勢漸ク不穏トナリ太古洋行汽船支那船員ハ「ストライキ」ヲ開始シ華英中学校ハ閉鎖セリ本邦人雜貨商二三モ夜間投石セラレ又「ボイコット」ヲ受クルニ至レリ日清汽船ハ今日ノ所無事ナリ

北京、漢口、重慶へ電報シ、上海、南京、長沙、沙市へ暗送セリ

五四三 六月十八日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

重慶領事館投石、邦人旅館乱入兩事件ニ対シ
中国側ニ厳シキ態度ニテ折衝シタキ件

第三四号 （七月四日接受）

(一)十六日当館ニ投石セルモノアル次第ハ既報ノ通ナルカ同夜十一時頃更ニ暴漢來襲当館ノ正門ニ泥土ヲ投ケ付ケ御紋章付表札ヲ泥マミレトセリ依テ本官ハ直ニ支那官憲ニ対シ嚴（重）抗議シ即刻來館ノ上実地検証アリ度キ旨申入レタルモ翌十七日中遂ニ何等ノ沙汰ニ接セス漸ク十八日朝ニ至リ交渉員秘書來館シタルヲ以テ親シク同人ニ暴

行ノ跡ヲ示シタル後本件ハ皇室ノ御紋章ヲ汚辱シ帝國公館ニ侮辱ヲ加ヘタル重大事ニシテ皇室ノ威嚴帝國ノ名譽ニ関スルモノナルヲ以テ即刻嚴（脱）ナル方法ヲ以テ謝罪ノ意ヲ表シ犯（人）ヲ嚴罰ニ処セラレンコトヲ要求スト述ヘ同時ニ省長及交渉員宛文書ヲ以テ右ト同意味ノコトヲ申入レ置ケリ

(二)往電第二二号有來館事件ニ関シ実ハ此ノ際徒ラニ事件ノ解決ヲ急キ支那ニ要求ヲ提出スルハ排外運動者ニ宣伝ノ材料ヲ与フルコトナルヘキヲ恐レ損害ノ調査ニ事寄セ故意ニ交渉ヲ遷延セシメテ時局ノ安定ヲ待チ居タル次第ナルモ更ニ(一)ノ如キ事件ノ發生スルアリ此ノ儘ニ捨テ置キ難シト存スルニ付本件ニ関シテモ本日正式ニ(一)帝國軍人ニ暴行ヲ加ヘ帝國臣民ノ住居ニ侵入シ損害ヲ加ヘタル暴徒ノ行為ニ関シ支那官憲ヨリ軍艦及当館ニ対シ遺憾ノ意ヲ表シ來ルヘキコトヲ期待スル旨(二)犯人ノ処罰(三)損害ノ賠償ヲ要求スルコトトシ十八日付文書ヲ以テ省長及交渉員ニ申入タリ因ニ損害賠償ハ被害者ノ申出額九百六十余弗ノミヲ要求シ置ケリ

(三)右二事件ハ勿論全國の排外運動ノ一端ナルヲ以テ政府ノ

全般ノ問題ニ対スル御方針ニ準シ処置スヘキモノナリトハ存スルモ当地地方ハ長江筋ノ各地トモ事情ヲ異ニシ支那官民共ニ我國ヲ輕侮スルノ傾向アリテ過去ニ於テモ宜陽丸事件其ノ他数多ノ事件頻發セルアルヲ以テ此ノ機會ニ於テ相当嚴重ナル態度ヲ執リ帝國(ノ)威信ヲ保持シ置クノ必要アリト存スルニ付本官ハ此ノ際相当強硬ナル態度ヲ執リテ本件ノ交渉ニ当リタシト存(スル)ニ付予メ御承認ヲ仰キ置キ度シ

北京、上海、漢口、宜昌ニ転電シ長沙、九江、南京、蕪湖へ暗送セリ

五四四 六月二十日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

漢口各国租界警備ノ陸戰隊引揚ニ関スル領事
團ノ打合せニツキ報告ノ件

第七五号 （六月二十一日接受）

其ノ後当地ノ状況ハ漸次平穩トナリタルヲ以テ日本租界ニハ約二十名ノ陸戰隊ヲ俱樂部ニ殘留セシメ夜間巡回巡邏ヲ

二 中国ノ排日排英運動状況 五四四 五四五

為サシムルコトセルカ領事團ニ於テハ陸戰隊引揚ケハ成ルヘク各国共同歩調ヲ取ルヲ得策トシ今ヤ蕭督弁ニ於テ外國人ノ生命財産保護ヲ責任ヲ以テ引受ケタルヲ以テ既ニ引揚ケノ時機ニ到達セリ但シ二十五日各地ニ示威運動アルヤノ報道アルヲ以テ其ノ前後ハ注意ヲ要スル旨ヲ各国軍艦長ニ通知シ更ニ二十日艦長會議ノ結果各租界トモ鉄条網等ヲ取外シ陸戰隊員ヲ減少シ二十五日前後ニ至リ領事團ノ意向ニ依リ全部引揚ケヲ決行スルコトニ決セリ

在支公使へ転電セリ

五四五 六月二十日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

漢口邦人被害者ハ時日ノ遷延ヲ嫌イ地方の交
渉ニヨル賠償ヲ請求ノ件

第七六号 （六月二十一日接受）

大臣發公使宛電報合第一三〇号ニ関シ

当地ニ於テハ写真撮影其ノ他ノ方法ニ依リ被害ノ調査ヲ為シツツアル処当地被害者等ハ時日ノ遷延ヲ嫌ヒ可成地方のニ交渉シテ賠償ヲ請求セラレ度キ旨ヲ請願シ來リ之ニ対シ

四八七

二 中国ノ排日排英運動狀況 五四六 五四七

本官ハ今回ノ被害ハ単ニ当地ノミニ止マラサルヲ以テ多分一括シテ北京ニ於テ交渉スルコトトナルヘント想像セラルルモノ一応本省ニ問合スヘシト答ヘ置ケル処地方的ニ解決ノ見込ツキタル次第ニモアラサル折柄此等被害者ニ対シテハ北京ニ於テ交渉スルモノナル旨言明シテ差支ナキヤ御回電アリタシ

北京へ転電セリ

五四六 六月二十日 在宜昌森岡領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

盧上游總司令ノ本邦人商店、住宅ニ対スル保護振り等報告ノ件

第二〇号 (六月二十一日接受)

往電第一七号ニ関シ

盧金山ハ特別ノ好意ヲ以テ本邦人商店住宅各戸ニ巡警二名宛ヲ派シテ昼夜保護ヲ加ヘ更ニ今朝学生取締ニ関スル峻厳ナル布告ヲ発セリ尚盧ハ学生ノ対外罷市罷工煽動ニ極力干渉ノ結果当地学生連合会ハ恐ヲ懷キ罷市罷工煽動ハ学生ニ關係ナキ無頼漢ノ所為ナル旨本日新聞紙上ニ公表シ漢口ヨ

ハ相当大ナル運動催サルヘント觀察セラル
在支公使、上海、南京、蘇州ニ暗送セリ

五四八 六月二十二日 在成都樺松總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

成都ニ於テ上海事件ニ関連シ排日英貨ヲ大呼セル示威行進行ハレタル件

第一三号 (六月二十六日接受)

上海事件ニ関シ学生其ノ他ハ二十一日西練兵場ニ國民大会ヲ開キ後示威の大遊行ヲ行ヘリ行列約五千当館前通過ノ際日本帝國主義打破、日貨排斥ヲ大呼シ途中排日英的文句ヲ大声シ伝單ヲ撒キ氣勢ヲ揚ケ 内ニ入り解散セリ
数日来新聞記事学生ノ大道演説其ノ他日英排貨ヲ煽リ居レルニ鑑ミ領事團ハ楊森ニ対シ外国人保護方予メ警告シ置キタルカ楊ハ対外國運動ハ賛成ナルモ居留外国人ニ対シ不法ノ挙動アル可ラスト布告シ尚各商館教会等ニ憲兵ヲ派遣シ保護警戒セシメタリ学生其ノ他平素楊ノ武断の遣口ニ恐ラナシ居レルコトトテ行列モ秩序ヲ乱サス又外国人各自ノ注意モアリ旁々無事ニ經過セリ当日ハ商店工場一斉ニ休業セ

四八八

リ来レル学生モ倉皇重慶方面ニ向ヘリ右ニテ差当リ不安一掃セラレタリ

北京ニ転電シ漢口、上海、長沙、沙市、重慶ニ暗送セリ

五四七 六月二十二日 在杭州小田領事館事務代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

杭州学生連合会ノ示威行進ニツキ報告ノ件

第二八号 (六月二十三日接受)

昨二十一日午後一時ヨリ当地学生連合会ノ第二回示威游行催サレタルカ右ハ端午節当日ノ大示威運動ノ先触レトシテ洽ク各人ノ奮起ヲ促サン趣旨ノ下ニ行ハレタルモノニシテ之ニ加ハレル男女学生合計約七、八百人ニシテ四組ニ分レテ游行シタルカ其ノ一隊ハ当領事館ヲ一隊ハ日本租界ヲ目指シ来リ夫レ夫レ帝國主義打破ト云フカ如キ定マリ文句ヲ叫ンテ去レリ当日ハ憲兵及警察側ノ警戒相当嚴重ニシテ何等ノ問題ヲモ惹起ササリシカ中ニ一学生ノ公衆ノ面前ニテ指ヲ嚙切りテ誓死救國ト血書セルアリ且本二十二日ヨリ毎日停車場及拱宸橋ノ波止場等ニ於テ学生ノ日英貨検査実行セラルル由ニテ樂觀ヲ許ササルモノノ如ク旁端午節當日

ルモ翌二十二日速開目下ノ処形勢急迫シ居ラス
北京へ電報シ重慶へ暗送セリ

五四九 六月二十三日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

蕪湖ノ学生及ビ苦力ノ日英兩軍艦ヘノ糧食運搬ノ拒絕宣伝並ビニ我ガ軍艦乗組員ヘノ投石ニツキ報告ノ件

第二六号 (六月二十四日接受)

前電邦人被害事件ニ関シ当地軍警ハ四名ノ關係者ヲ即夜逮捕セル等嚴重ナル態度ヲ取り居ル為メ労働者側ハ官憲ノ態度緩和ノ為学生ノ援助ヲ要求シ学生側ノ一部ハ此際労働者援助ヲナシ得サレハ其ノ勢力ノ消長ニモ影響ストナシ労働者側ヲ煽動シ形勢ヲ悪化セシメントスル疑アリ今朝来学生及苦力ハ江岸ノ舢舨ニ対シ英日兩國軍艦ヘノ糧食運搬ノ拒絕ヲ宣伝シ尚帝國驅逐艦第五号ノ端艇ノ江岸ニ近ツキ際陸上ヨリ多数ノ群集投石シ乗組員四名ニ負傷セシメタル旨該船長ヨリ通知アリ本官ハ即刻交渉員ヲ訪問右事態ニ付暴行者ノ逮捕及警戒嚴重ハ勿論水陸交通区域ニハ軍隊派遣ヲ要

求シ即時之ヲ実行セシメ置キタリ
在支公使へ転電セリ

五五〇 六月二十三日 在厦門井上領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海、広東学生代表ノ煽動ニヨル厦門学生団
ノ示威運動ニツキ申進ノ件

別電 同日在厦門井上領事発幣原外務大臣宛電報第二
六号
厦門示威運動ニ備エ馬公要港部ニ対シ軍艦派遣
方要請ノ件

第二七号 (六月二十四日接受)

往電第一七号ニ関シ

二十三日領事団會議ニ基キ別電第二六号ノ通馬公司令官宛
軍艦派遣ヲ要求シ置ケリ当地今日迄ノ風潮ハ累次報告ノ通
リ声ノミ大ニシテ實際上ノ影響左程大ナラサリシカ最近上
海広東ヨリ来レル学生代表等カ当地外交後援会ノ煮エ切ラ
サル態度ニ痺レヲ切ラシ遂ニ学生団ヲ煽動シテ共同租界ニ
侵入シ租界警察トノ衝突ヲ覚悟ノ上ニテ示威運動ヲ決行セ

ント秘密裡ニ決議セシメタル結果二、三日中ニ実行ノ模様
ニテ支那海軍ハ直ニ兵ヲ発シ租界警察ニ代ツテ秩序ノ維持
ニ当ルコトヲ明言シ居ルモ諸般ノ事情ヲ綜合スルニ或ハ上
海ノ如キ不祥事件ノ発生セサルヲ保シ難キ勢アリ本官ハ各
國領事ト協調ヲ保チ共同動作ヲ確保シ居ル一方居留民ニ対
シ輕挙妄動ヲ戒メ館員ヲ督シテ万一ノ場合ノ避難方法等ヲ
講シ居レリ

本電別電ト共ニ在支公使へ転電シ上海、福州、汕頭、広東
へ暗送セリ

(別電)

六月二十三日在厦門井上領事発幣原外務大臣宛電報第二六号
厦門示威運動ニ備エ馬公要港部ニ対シ軍艦派遣方要請ノ件

第二六号

馬公要港部宛電報

今日迄厦門側ヲ煽動シ居タル学生団遂ニ意ヲ決シテ共同租
界ニ来リ示威運動ヲ行ハントスル旨ノ確報アリ支那海軍当
局ハ責任ヲ以テ租界ノ安全ヲ保障スルモ領事団ハ工部局及
一般在住者ノ意向ニ基キ万一ノ場合ニ処スル為メ至急日英
米三国軍艦ノ派遣ヲ請フコト並厦門港外ノ「チャペル」島

北京へ転電アリタシ

五五二 六月二十四日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

蕪湖官憲ノ我ガ軍艦乗組員被害ニ対シ遺憾ノ
意ヲ表示並ビニ同官憲側ノ学生、苦力ニ対ス
ル措置振り報告ノ件

第二八号 (六月二十五日接受)

(三?)

昨二十四日夜交渉員本官ヲ来訪シ前電帝國軍艦ノ乗組員被
害ニ対シ遺憾ノ意ヲ表シ且市内埠頭苦力ノ不安ヲ除去スル
為当地官民ハ昨午後會議ヲ開キ今日ヨリ其苦力ヲ使用シテ
道路ノ修繕ヲ行ヒ其ノ生活ノ安定ヲ為サシメ又外国人ニ対
シ暴行又ハ不穩ノ言動ヲ為スモノハ毫モ假借セス之ヲ処分
シ尚外交後援会及学生側ニ対シ不穩苦力等ニ同情的ノ言動
ヲ為スヘカラサルコトヲ嚴重命令セル旨ヲ述ヘタリ右支那
側措置ノ宜シキヲ得タル為カ今朝来市内ハ平靜ニ帰シ水兵
等ノ上陸ニモ何等ノ支障ヲ見サルカ時節柄尚細心ノ注意ヲ
払ヒ居レリ

在支公使ニ転電シ上海、漢口、南京、九江ニ暗送セリ

Chapel Island 付近ニ集合シ当地海軍当局カ租界ノ秩序

ヲ維持シ得サル模様アラハ直ニ無線電信ヲ以テ急ヲ告ケ厦
門入港ヲ頼ムコトニ決定シタリ就テハ今明日中ニ右「チャ
ペル」島付近迄軍艦一、二隻御派遣ノ上英米軍艦ト共同動
作ニ出ツル様御配慮仰キ度シ

五五一 六月二十四日 幣原外務大臣ヨリ
在漢口林総領事宛(電報)

漢口邦人被害ノ賠償交渉ノ内地方の二解決シ
得ル見込アル問題ハ地方官憲ト折衝シ解決ア
リタキ件

第一八号

貴電第七六号ニ関シ

差当リ貴電末段ノ通り言明セラレ差支ナシ本件ハ貴地方ノ
事態鎮靜ニ帰シタル上地方的ニ解決シ得ル見込アル問題ハ
我方单独ニ又ハ列國領事トモ協議ノ上遲滞ナク地方官憲ニ
交渉シ解決ヲ謀ル様御尽力アリタク尤上海事件交渉進行ノ
模様ニ依リテハ或ハ同時ニ北京ニ於テモ之ヲ商議スルコト
トモナルヘキニ付右御了承アリタシ

五五三 六月二十四日（着） 在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

汕頭海員ノ罷業情況ニ関シ報告ノ件

第一九号

香港ノ海員罷業ニ次キ当地海員ハ二十五日ヨリ荷役ハ七月五日ヨリ日英船ニ対シ罷工ニ決シ上海香港方面トノ交通困難ニシテ米其他外来品暴騰セルモ大阪商船ノ台湾命令航路ノミハ船員ヲ日本人ニ代ヘ定期ヲ履ム筈ニ付香港及台湾トノ旅客及郵便ヲ辛フシテ断絶ヲ免レ得ヘシ因ニ当地発着電報ハ郵便ニテ香港中継ナルヲ以テ今後ハ其往復モ長時日ヲ要スヘシ

（海軍無線電信所取扱）

五五四 六月二十四日 在厦門井上領事ヨリ
幣原外務大臣宛

厦門ニ於ケル排日英運動情報報告ノ件

機密第五五号 （七月十日接受）

大正十四年六月二十四日

在厦門

領事 井上 庚二郎（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

厦門ニ於ケル排日英風潮ニ関スル件

本件ニ関スル其ノ後ノ狀況左記ノ通り及報告候条御査閱相成度此段申進候也

記

(一)上海代表ノ来厦 上海学生連合会代表トシテ曩ニ陳尚友、陳言、梁竜光、林堯階ノ四名相前後シテ来厦セシカ十九日更ニ葉文竜、陳德華ノ兩名（何レモ広東省人）来厦滞在中ナリ

(二)代表會議 六月二十三日厦門外交後援会ハ当地各団体ノ代表會議ヲ開催セシカ前項記載ノ上海学生代表葉、陳ノ兩名モ出席シ葉ヨリ

此次自分等来厦ノ目的ハ当地各界ノ援助ヲ請ハンカ為メナリ援助ノ方法ニ直接間接ノ二アリ直接ノ援助ハ金錢上ノ援助ニシテ此ノ件ハ既ニ各界ニ於テ熱心ニ進行セラレ居リ感謝ニ堪ヘス間接ノ援助ハ經濟絶交ニシテ当地ニ於テハ未タ其ノ實現ヲ見サルハ遺憾ナリ自分等ハ今後極力之ヲ鼓吹セントシ既ニ商務總會及教育会ニ向ツテハ意見

一、支那軍艦一隻ヲ鼓浪嶼ト厦門島トノ中間ニ碇泊セシメ万一二備フルコト

二、学生隊ハ総員二百名トシ二十分隊ニ編成スルコト

三、外交後援会ヨリ一分隊ニ付一名ノ指揮者（監督者）及ヒ一名ノ交通員（事故ノ発生ヲ防止ス）ヲ付スルコト

四、高級指揮者ヲシテ陸戰隊一連ヲ指揮シ警戒セシメ尚若手ノ探偵ヲ派スルコト

トシ又工部局ニ於テハ当日巡警全部ヲ引揚ケ之ヲ避難集合所（本月十一日付機密第四三号拙信添付乙号付属書類参照）ニ配置シ警備ニ任スルコトトシ又日、英、米ハ各軍艦ノ派遣ヲ乞ヒ之ヲ港外 Chapel Island 付近ニ集中シ置キ万一支那海軍カ租界ノ秩序ヲ維持シ得サル模様ナルトキハ直チニ当港碇泊船舶ノ無線電信ヲ利用シ其ノ入港ヲ頼ムコトトシ三国領事ヨリ直チニ（二十三日夕）ソレソレ電報シテ請求セリ

本信写送付先 在支公使、上海、福州、汕頭、広東各總領事領事、台湾總督、馬公司令官

五五五 六月二十五日 在杭州小田領事館事務代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

杭州ノ示威運動ハ城内目抜ノ場所ノミニテ整
然ト行ハレ領事館、日本租界ニハ来ラザル件

第二十九号 (六月二十六日接受)

本二十五日端午節句ニ於ケル当地示威運動ハ日中ノ炎暑ヲ
避クル為午前五時ヨリ催サレタルカ省自治法会首席議員タ
ル褚輔成ヲ首席トシテ中等以上各學校生徒ハ勿論省自治法
会、省議會、省教育会、總商會ヲ初メトシ省會各団体其ノ
他ノ公団拳ツテ之ニ加入シ約一万人ヲ数ヘタリ而シテ今回
ハ当領事館及日本租界ニハ来ラス城内目抜ノ場所ノミニ制
限シ秩序整然トシテ而カモ深刻ヲ極メタル游行ヲナシタル
カ八時半解散ニ際シ前記褚輔成ハ吾々ハ今回ノ上海事件ノ
解決如何ニ遷延スルトモ之レカ良好ナル解決ヲ見ル迄ハ断
シテ此運動ヲ中止セスト叫ビタル由ナリ而シテ本日領事館
及日租界等ニ来ラサリシハ孫伝芳カ二十三日各団体領袖ヲ
招キタル際問題ノ發生ヲ惧レテナシタル忠告ニ基クモノラ
シク尚午後一時ヨリ六時迄全市ノ各界ハ停業シ夜間ニ於ケ
ル各劇場ノ純益ハ全部上海罷業後援ニ寄付スル筈ナル由ニ

五五七 六月二十七日 在重慶加米領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶ノ形勢益々惡化ニ伴イ城内ノ邦人避難並
ビニ領事館事務所ヲ軍艦内ニ移スコトノ可否
ニツキ請訓ノ件

第四〇号

当地形勢益々惡化シ二十六日朝郵便局長英國人暴行ヲ受ケ
輕傷ヲ負ヒ外國人ノ通行危險ナルヲ以テ在留民ニハ外出ヲ
禁止シ居レリ本日ヨリ家庭使用人ノ罷業始マリ飲料水欠乏
シ居ル而已ナラス相互連絡ノ唯一ノ機關タリシ電話モ本邦
人ノ分ハ各所トモ一齊ニ不通トナリ又一方比良ヲ襲撃スヘ
シトノ謠言頻リ(脱)ハ予テ準備シアル汽船内ニ避難スヘ
シト勸告シ居ルモ其ノ財産ヲ無責任ナル支那官憲ニ委ヌル
ヲ好マス(苦力「ストライキ」ノ為荷物運搬ノ途ナシ)領
事ノ引揚命令ヲ受ケ日本政府ヲシテ損害補償ノ責ニ任セシ
ムトノ意志カ右命令アル迄ハ動カスト主張スル者鮮カラ
ス此ノ上ハ陸戰隊ヲ上陸セシムルノ外途ナキモ袁祖銘ノ参
謀長対日英宣戰ヲ主張シ同軍ノ兵士ノ暴行ニ参加スル等ア
リテ陸戰隊トノ衝突ヲ起サンモ保シ難キニ付ヨクヨクノ場

テ督弁署其他ノ官庁ハ朝ヨリ半旗ヲ掲ケ居レリ
在支公使、上海、南京、蘇州へ暗送セリ

五五六 六月二十六日 在重慶加米領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日本租界内ノ製糸工場罷工開始ノ氣配並ビニ
巡視中ノ我ガ領事、警部ニ対スル暴行ニ関シ
報告ノ件

第三十八号 至急 (六月二十七日接受)

日本租界内ノ製糸工場又新糸廠ノ職工約五百名罷工ヲ開始
セムトシ不穩ナルヲ以テ小官ハ篠本警部ヲ同道昨二十五日
租界ヲ巡視シ警備中ノ軍艦鳥羽艦ヲ訪問シテ午後六時城門
ニ帰着シタルカ途中「モーター・ボート」ニ頻リニ投石セ
ラレ岸壁ニ上陸スルヤ群衆不意ニ包囲シ轎ヲ微塵ニ破壊シ
引続キ約一時間ニ互リ追跡シ来リタルモ所持シ居タル拳銃
ヲ擬シテ威嚇シツツ辛ウシテ支那警察ニ迫リ着キ微傷タモ
負ハスシテ暴徒ノ難ヲ免レタリ急報ヲ得テ町田來場シ軍艦
ノ護衛ニ依リ無事帰還セリ一般ノ形勢益々惡化ス委細後報
前電通リ転電セリ

合ノ外陸戰隊ハ上陸セシメサル考ナリ既ニ英國人初メ外國
人ハ対岸ニ避難シ居ル關係上今回ノ排外運動カ相当永引ク
モノトスレハ勢ヒ城内ニ居住スル本邦人ノミ目標トナルニ
至リ一般ノ排外運動カ排日運動ト化スル虞モアリ此ノ際ハ
相當ノ犠牲ヲ払フトモ他外國人ト同様一時避難スルコトヲ
以テ最得策ナリト信ス依テ本官ノ勸告ヲ容レサル者ハ保護
行宜ラサルヤモ知レサル旨ヲ告示シ本官モ或ル時機ニ於テ
英國領事同様軍艦内ニ事務所ヲ移シ在留民ノ避難ヲ促進セ
シムル必要アリト存スルニ付領事館ノ引揚ケニ付予メ御許
可ヲ仰キ置キタシ尚引揚命令ヲ発シ差支ナクハ更ニ好都合
ナリ何分ノ儀至急御回電ヲ請フ

追テ当地ハ目下戰乱ノ禍中ニ陥ラムトシ兵變ト排外暴動ト
カ同時ニ起ルノ危險モアリ且地勢上咄嗟ノ場合動キノ取レ
ヌ点ニ於テ他ノ地方ト趣ヲ異ニシ居ルニ付此ノ点ニ付特ニ
御考慮置キヲ請フ

在支公使へ転電セリ

五五八 六月二十七日 在重慶加米領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶租界内ニ於テ比良艦士官ト中国兵トノ衝突ニツキ報告及ビ至急引揚命令ヲ発スル権限ヲ与エラレタキ件

第四一号 緊急
合第四号

二十六日午後租界内ニ於テ比良艦ノ士官数名ト劉成勳ノ兵トノ間ニ格闘起リ目下一時治リタルモ形勢急転ノ虞アリ城内ノ袁祖銘軍亦日本人ヲ襲撃スト公言シツツアリ陸戦隊上陸ハ危険至極依テ在留民全般ニ引揚命令ヲ発シ汽船内ニ收容シ度シ在留民約百名ノ財産ハ保護ヲ完全ニスル見込立タルモ支那側ニ対シ極力責任ヲ負ハシムヘシ至急本官ニ引揚命令ヲ発スルノ権限ヲ与ヘラレ度御願ス

五五九 六月二十七日 幣原外務大臣ヨリ
在重慶加米領事宛(電報)

比良艦士官ト中国兵トノ衝突ニツキ要領電報方並ビニ邦人ノ收容引揚等ハ裁量ニヨリ善

処アリタキ件

第二〇号

貴電第四一号ニ関シ比良士官格闘ノ件要領電報アリタク在留民ノ收容又ハ引揚等其ノ保護ニ付テハ現地ニ於ケル急迫ノ情況ニ応シ貴官ノ裁量ニ依リ最善ノ措置ヲ採リ報告セラルレハ可ナリ緊急ノ際一々請訓ニ及ハス

五六〇 六月二十九日 在重慶加米領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

在留民ヲ城内ヨリ引揚ゲ日清汽船ノ雲陽丸、
德陽丸二分乗避難セシメタル件

第四二号 至急 (七月二日接受)

既ニ欧米人城内ヲ去リ排外運動ノ目標ト為ルハ日本人ノミトナリ居ルノミナラス形勢益々悪化シ糧食ノ供給永続キスヘキ見込立タス且租界方面モ不安ナルニ付此際在留民ヲ租界ニ集中シ租界ヲ嚴重ニ警戒スル外日支人ノ衝突ヲ防ク方法ナント認ム万一当地ニ於テ日本側カ問題ヲ起スカ如キ事アリテハ大局上大ニ不利益ナルヘシト判断シ小官ハ二十七日警備、艦長ト協議シ在留民中主ナルモノノ了解ヲ得タル

五六二 六月二十九日 在重慶加米領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

比良艦士官ハ中国兵、労働者等ヨリ投石、殴打セラレ鳥羽艦長等中国軍憲ニ対シ嚴重抗議ノ件

第四四号 (七月一日接受)

二十六日午後四時半軍艦比良ノ士官四名租界内又新工場門前及海軍ノ「テニスコート」ニ於テ支那兵並職工ヨリ投石セラレ引続キ無頼漢工場内ヨリ飛出シ士官ヲ殴打シタルカ艦長来合セテ暴漢ヲ取静メタリ艦長ハ微傷ヲ負ヒタルモ他ニ負傷ナシ本件ニ付テハ追テ詳報ス可キモ艦長初メ士官連カ城内居留民ニ累ノ及フヘキヲ恐レテ忍ビ難キ屈辱ヲ隱忍サレタルハ感謝ニ堪ヘス同夜亦約三十名ノ支那兵^{グイシン} 鉄工場ニ侵入シ不穩分子ノ出入アル等危険ナルニ付 工場ヲ閉鎖セリ翌二十七日鳥羽艦長加藤塩務官及町田ハ夫レ夫レ各軍領袖及省長ヲ往訪シ本官ニ代リ嚴重抗議スルト同時ニ今後租界内ニ支那兵及学生ノ侵入取締方嚴談セリ其後無事公使、上海ヘ転電セリ

後甚タ越権ノ次第ナルモ專断ヲ以テ在留民全般ニ対シ城内ヲ引揚ケ避難ヲ命シ同夜十二時半王常防司令及警察隊護衛ノ下ニ全部(中ノ一二名ヲ除ク)日清汽船ノ雲陽及德陽丸ニ分乗避難セシメタリ
小官今回ノ越権行為ニ対シテハ何レ嚴重御処分ヲ受クヘキ覚悟ナルモ今回ノ排外運動終熄ノ上ハ不敢取一応本官ヲ罷免セラレ規律ヲ維持セラレン事ヲ願上ク
在支公使ヘ転電セリ

五六一 六月二十九日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口方面一般ニ平穩トナリタルニツキ各国租界一律ニ陸戦隊撤退シタル件

第七八号 (六月三十日接受)

往電第七七号二十八日ヨリ三日間武昌ニ於テ行ハル可カリシ示威運動ハ前日ニ至リ蕭督弁ノ禁止スル処トナリ一般ニ平穩ナルヲ以テ二十九日各国租界共ニ一律陸戦隊ヲ撤退セリ
北京ヘ転電ス

五六三 六月二十九日 在重慶加米領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

邦人ノ引揚げ、避難ニツキ王常防司令ト協定
ノ件

第四五号 (七月二日接受)

往電第四二号ニ関シ

二十七日午前に留民引揚避難ニ付王常防司令ト左ノ通り協
定ス

一、邦人ノ財産ハ取纏メ室内又ハ金庫内ニ保存シ鍵ヲ下シ
テ戸口窓其他所要ノ箇所ニ当館ノ封印ヲナシ各戸ニ四名
ノ巡警ヲ常時留メ置クコト

二、支那側ハ避難邦人ノ遺留財産保護ニ付全責任ヲ負フコ
ト

三、避難者ハ避難所迄支那軍隊及支那警察隊之ヲ護衛ス
四、領事館警衛ノ為メ王ノ兵三十五名ヲ門前ト館員官舎ニ
駐在セシメ領事ノ帰還スル迄全責任ヲ負ヒ護衛スルコト
五、領事館員ノ護衛ハ王ノ兵ヲ以テスルコト

以上

同日午後一時ヨリ特ニ城門ヲ開キ十二時半迄ニ居留民全部

(但シ中野医師夫妻ハ頑トシテ動かス不得止王ニ其ノ保護
ヲ依頼セリ)軍艦鳥羽保護ノ下ニ在ル雲陽德陽ノ兩船ニ避
難セリ本官ハ館員一同ト共ニ翌二十八日雲陽丸ニ移リ事務
所ヲ軍艦鳥羽ニ置ケリ尚笹本警部ハ中野医師ノコトモアリ
一面官品整理ノ為メ当分領事館ニ残留セシメタリ

公使、上海、漢口、宜昌へ転電セリ

五六四 七月二日 在南京林出領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

南京学生団ノ中国人商店ニ対スル日英貨物檢
査ト檢査証貼付ニツキ報告ノ件

第四九号 (七月三日接受)

当地其後稍々平靜ニ赴キツツアリシカ六月二十七日頃ヨリ
城内及下関ノ支那商店ノ日英貨檢査ヲ始メ各学校ニテ分担
区域ヲ定メ商品ニ檢査証ヲ貼付ケ一枚二厘宛徴收スル模様
ナリシモ未タ徹底的ニ強行スルニ至ラス七月一日夜和記洋
行買弁 (comprador) 羅某下関ノ自宅ニ帰リシ処ヲ二百
余名ノ学生ニ襲ハレ裏口ヨリ逃レムトセシモ負傷シ終ニ学
生ニ捕ヘラレタル趣右ニ対シ下関諸界職工団英人側ヨリ取

戻ノ交渉ヲ為シタルモ不調ニ終リタリト言フ一説ニ抛レハ
身代金二十萬元ヲ要求サレ居ルトノコトナリ
七月二日約四百名ノ労働者下関ヨリ城内ニ入りシカ各自野
蠻行為ニ反対ス我親分ヲ返セ罷業一ヶ月ニシテ職工餓ニ等
ノ文字ヲ記載セル白旗ヲ携ヘ居レリ右ハ学生団ノ暴ニ反対
スルモノト思ハル

転電及郵送先前電通り

五六五 七月六日 在漢口林総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

湖北省議會発起ニヨル上海、漢口事件ニ対ス
ル示威運動報告ノ件

公信第二五九号 (七月十五日接受)

大正十四年七月六日

在漢口

総領事 林 久治郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

対英示威運動報告ノ件

武漢地方ハ湖北省議會発起ノ下ニ武漢各団体連合シテ六月

二 中国ノ排日排英運動状況 五六五

二十八日二十九日三十日ノ三日間ニ亘リ上海漢口事件ノ示
威運動ヲ為ス計画アリシカ胡交渉員ハ当時租界警備ノ各国
陸戦隊撤退ノ議アリシヲ以テ時局柄外國人ニ口実ヲ設ケシ
ムル虞アリトテ示威運動延期ノ得策ナルコトヲ献策シタル
為メ蕭督弁ハ最初許可スル意向ナリシモ胡交渉員ノ献策ヲ
容レ之ヲ禁止シタルカ其後二十九日ニ至リ更ニ禁止ヲ取消
シ湖北省議會発起ノ下ニ六月三十日午前七時武昌省議會門
前広場ニ於テ上海漢口兩事件ノ犠牲者ノ追悼会ヲ開キタル
カ参会スル者省議會議員、武昌總商會會員、漢口總商會會
員、武漢律師公會會員、省議會議員、省農會會員、武漢学
生連合會學生、武漢新聞記者等無慮数百名省議會議長屈佩
蘭司會者トナリ犠牲者ニ対シ鄭重ナル追悼式ヲナシ其レヨ
リ這般上海漢口兩事件ニ対シ英國人ノ執リタル処置ハ非人
道的ナリトテ口ヲ極メテ英國ヲ痛罵シ続イテ副議長劉錫侯
登壇シ省議會提出ノ対英六ヶ条要求ヲ(六月三十日付公信
第二四四号参照)朗読シ該要求条件ノ解決ヲ見ル迄官庁ノ
後盾トナリ力爭スヘントテ参会者ノ奮起ヲ切望スル旨絶叫
シテ降壇シ追悼講演会ヲ閉シタルカ閉會後参集者ハ手ニ手
ニ「抗争漢案対英經濟絶交」「援助滬粵案努力奮闘」「收回

英租界」「懲弁英人兇手」「解散英国義勇隊」「廢止不平
等条約」「寧為玉碎毋甘瓦全」等記セル小旗ヲ持チ武昌市
内各所ヲ游行シ軍務善後事宜公署ニ至リ蕭督弁ニ面会ヲ求
メタルモ睡眠中ナリシ為メ副官長段鴻年代見シ蕭督弁ハ今
次漢口事件ニ対シテハ民意ヲ尊重シ極力交渉シ決シテ讓歩
セサル旨宣言シタルカ群集中ニハ蕭督弁カ彼等ニ面会セサ
リシコトヲ憤慨セルモノアリシカ更ニ市内ヲ游行シ正午省
議會門前ニ歸リ対英外交努力、中華民國萬歲ヲ三唱シテ散
会シタリ而シテ同日武昌警衛司令部ノ軍隊及警務処ヨリ巡
警派遣セラレ彼等ニ随行シ秩序維持ニ当リタル為メ該示威
運動ハ極メテ秩序整然ト行ハレタリ

尚ホ最近当地方ニ於ケル輿論ヲ見ルニ広東重慶等事件ノ益
々拡大ニ伴ヒ漸次排英熱激烈ヲ加ヘムトスルニ反シ排日風
潮著シク緩和シツツアリ当地支那街居住ノ邦商ハ万一ヲ慮
リ過半ハ今尚ホ日本租界内ニ避難中ナルモ支那人店員ヲシ
テ平常通り營業セシメツツアリ昨今ノ商況ハ前途ノ時局ヲ
見越シテカ寧ロ活氣ヲ呈シツツアリ

写送付先 在支公使 在上海總領事

第二七号

(七月九日接受)

重慶發本官宛電報第一〇号

転電アレ

大臣宛第五〇号

(一)王司令ノ辭職城内形勢益々不安ナルニ付笹本警部ヲ五日
租界ニ引揚ケシメ目下城内ニ残留スルハ中野医師夫妻ノミ
ナリ

(二)機密書類ハ全部金庫ニ納メ其ノ他ハ取纏メ封印ヲ施シ置
ケリ

(三)領事館ヲ德陽丸ニ移ス

陸電發送困難ナルニ付今後必要ニ応シ海軍無線ヲ使用スヘ
キニ付御含ミヲ請フ

五六八 七月八日

在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

王司令ハ排外運動ニ断乎タル措置ヲ執ラント
セシモ劉省長等ノ反对ニテ辭職ノ件

第五一号

(七月九日接受)

一般情報

五六六 七月七日

在宜昌森岡領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶ハ衛戍司令辭職ニヨリ市中無政府狀態ニ
陥ル虞レアルニツキ邦人保護方御配慮アリタ
キ件

第二四号

(七月八日接受)

本官發在支公使宛電報第一五号

加來領事ヨリ左ノ通

王衛戍司令辭職ノ結果市中ハ無政府狀態ニ陥ルノ虞レアリ
領事館及在留民遺留財産ハ支那警察ニテ保護中ナルモ心細
シ当方ニテモ全力ヲ尽スヘキモ此ノ際北京政府ヨリ四川各
軍省長及責任官憲ニ対シ城内中野夫妻及(脱)人ノ財産全
般保護方特別ニ手配スル様電命方御配慮ヲ請フ
外務大臣ヘ電報セリ

五六七 七月八日

在宜昌森岡領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶城内ノ形勢急迫ニツキ其ノ措置振り報告
ノ件

一、荷役ニ就キ百万方手ヲ尽シタルモ遂ニ荷役不能トナリ四
日夕刻、纜ヲ切り租界沖ニ避難シ五日積荷ノ儘下江セリ当分
荷役不能ト認ム

二、四日王司令ハ排外運動ノ大群集ニ向ヒ支那ヲ亡ホスモ
ノハ支那人ナリト絶叫シテ大演說ヲ為シ学生数名ヲ逮捕シ
タルカ群集ノ激昂極度ニ達シ王ハ日英兩國ヨリ收賄セル亡
国奴ナリト罵リ王ヲ非難シ暴行言語ニ絶シ王ハ之ニ依リ断
乎タル措置ヲ執ラントセルモ劉湘ト袁祖銘ノ反对ニ遇ヒタ
ルヲ以テ即時衛戍司令ヲ辭シ其ノ軍隊ヲ保寧ニ引揚ケシメ
タリ

三、四日王司令辭職ト共ニ形勢俄ニ惡化シ無政府狀態トナ
リ南岸警備ノト劉成勳ノ敗兵ハ外人ノ住居区域ヲ掠奪
シ六日ニ至ルモ止マス

四、五日町田ハ單身城内ニ潜入シ一時少年軍ニ捕ヘラレタ
ルモ遁レ省長劉湘其ノ他各將領ニ面談シ嚴重抗議及要求ヲ
繰返シ来リタルモ四川当局ハ頼ムニ足ラス租界ハ陸戰隊警
戒シ無事

公使、漢口ヘ転電セリ

五六九 七月八日

在重慶加米領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

排外諸団体等ハ租界ヲ包囲シ外界トノ交通遮
断ノ旨並ビニ王司令復職シ治安維持ニ努メツ
ツアル件

第五二号

(七月九日接受)

一般情報

(一)五日排外諸団体及敗兵ノ群租界ヲ包囲シ糧食ヲ絶チ使者
ヲ捕虜トシ形勢險惡ナルニ付已ムヲ得ス戒嚴ヲ布キ警戒
セシム早朝ヨリ日没マテ外界トノ交通全然遮断サレ暴徒
租界ニ侵入ノ企数回ニ亘リ来襲シタルモ鉄条網ヲ張り散
兵線ニ機銃ヲ備ヘ嚴重防禦シタル結果遂ニ発砲スルニ至
ラスシテ解散セシムル事ヲ得タリ

(二)六日早朝ヨリ愈々猛烈トナリ危險ニ瀕シタル事数回將ニ
発砲セントシタルモ警備両艦長ノ隱忍ニ依リ事無キヲ得
タリ水兵一名投石ニ依リ微傷ヲ負ヘリ此間外国軍艦領事
ヲ通シ其他凡ユル方法ヲ尽シ支那官憲ニ急ヲ報シタル結
果七日早朝ニ至リ官民各界ノ請ニ応シ全權ヲ獲テ復職シ
タル衛戍司令官ハ兵百名ヲ急派シ来リ暴徒ハ直チニ銃殺

スヘキ旨ヲ宣布シタルニ依リ物情漸ク静穩ニ向ヒツツア
リ英国人ノ南岸住宅ハ散々ニ掠奪セラレタルモ邦人財産
ハ今日マテ無事ナリ城内邦人ノ財産ニ関シテハ王ノ復職
ニ依リ更ニ保護ノ手段ヲ尽スヘシ軍艦「保津」本日着ノ
答

以上八日公使、漢口へ転電セリ

五七〇 七月八日

在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

漢口英租界ニ於ケル騷擾事件ト赤化運動トノ
關係ニツキ報告ノ件

機密第八六号

(七月二十二日接受)

大正十四年七月八日

在漢口

総領事 林 久治郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

漢口ニ於ケル騷擾事件ト赤化運動トノ關係報告ノ件
上海事件ノ一延長トシテ客月十一日ノ夜当地英租界ニ支那
人暴徒ノ騷擾起リ其結果邦人ノ受ケタル損害多大ニ上リタ

旧露租界ノ住宅ニ襲ヒ家宅搜索ヲ行ヒ其結果共產主義宣伝
者タル確証ヲ得直ニ銃殺セルモノナリトイフ
目下当地ニハ勞農政府派遣員「ヴァシリエフ」ナルモノ滯
在シ居リ露國領事館建物等ヲ管理シ居リ他ニ露亞銀行支配
人「グラーツ」ナルモノモ共產主義者ト目セラレ支那官憲
ニ於テハ兩人ノ出入交際等ニ嚴重ナル注意ヲ怠ラサルモ彼
等ハ表面直接ニ支那人ト接触シ居ル模様ナク未タ何等具体
的主義宣伝ノ証拠ヲ握リ得サルカ如シ

尚当地在住支那人ニシテ共產黨員ナリト伝ヘラルルモノニ
ハ国民党省党部(市党部ニ対スルモノ)員ノ一部アルモ有
力者ナク最有力者トシテ噂セラレタルモノニハ国民党員ニ
アラサルモ前湖北教育庁長程鴻書(駒場農大出身)アルモ
其真偽不明ナリ目下共產黨員トシテ疑ハレ或ハ逐電シ或ハ
租界ニ身ヲ潜メ居ルモノニハ一昨年ノ京漢鐵道員罷業ニ牛
耳ヲ操リシ劉芬ヲ始トシ胡鄂公(国民党員)喻血輪(揚子
通信社長)張轟、袁告成、許伯昊(工団幹事)許鴻(学生)
等アルモ如何ナル程度迄共產主義ト關係アルヤハ明白ナラ
ス唯何レモ当地ニ罷業其ノ他ノ事故起ル毎ニ直接間接ニ関
係シ社会ノ現状ニ嫌ラサル思想ヲ有スルモノノ如シ又日本

ルカ同夜以後支那官憲ノ取締リハ頗ル嚴重トナリ十三日朝
ニハ旧露國租界居住ノ予テ過激主義宣伝者ト目セラレ居リ
タル医師蕭英一世ノ捕縛銃殺トナリ続イテ蕭ト關係アリシ
浮浪人ノ頭目潘儀亦同一ノ運命ニ遭遇セルタメ今回ノ当地
騷擾カ直接ニ過激派ノ煽動ニ依レルカノ噂アリタルカ支那
官憲及其他各方面ヨリ探知スルトコロニ依レハ先年来当地
ニモ赤化宣伝ノ魔手カ延ヒツツアリタルハ事実ナルモ露人
直接ノ宣伝ニ依ルモノニハアラサルカ如ク前記ノ蕭英一世
ハ一昨年四川ヨリ当地ニ来住シ表面医師ヲ装ヒテ竊ニ小冊
子ヲ印刷配付シ過激主義ヲ宣伝セルカ彼ハ当地ニ於ケル露
人トハ直接ニハ關係ナカリシモノノ如シ而シテ十一日夜ノ
騷擾事件ハ十日夕景ノ太古洋行碼頭ニ起リシ使用苦力ト看
視支那人トノ衝突ニ近因シ其以前上海事件ノ宣伝ニ依リ醞
釀中ナリシ排英日空氣ニ触レテ爆発シタルモノニシテ此等
宣伝中ニハ国民党員ノ散布セルモノ少ナカラサルヲ以テ共
産主義ノ影響ヲ受ケタリト見做シ得サルニアラサルモ直接
ニハ過激主義ノ煽動アリタリトハ見ル事実ナキカ如シ唯蕭
英一世カ捕縛銃殺セラレタルハ軍憲ニ於テ十一日夜以後治
安攪乱者ヲ嚴重ニ取締ルコトトナリ予テヨリ嫌疑セル蕭ヲ

租界ノ大漢報社長胡石庵ハ国民党市党部代表者ナルヲ以テ平常ヨリ各方面ヨリ共產党ト關係アルヤニ噂セラレ居ルヲ以テ當館ニ於テモ注意中ナルカ未タ確實ナル關係ナキモノ如シ

前述ノ如キ狀態ニテ當地ニ於テハ共產主義ノ宣伝活潑ナラサルカ如キモ一般學生ノ思想ニハ北京上海等ノ思想界ノ影響ヲ受ケ居ルコト勿論ニシテ非帝國主義、自由平等ノ思想ハ一般ニ青年ノ頭腦ニ漲リ居リ此等學生ハ今回ノ上海事變ノ如キヲ赤化運動ト称セラルルヲ頗ル嫌惡スルモノ多シ十一日夜ノ當地暴動ノ如キモ右ノ如キ狀態ナルヲ以テ直接ニハ赤化運動ト何等ノ關係ナク唯間接ニ社會主義的思想ノ影響ヲ受ケ一般ニ外人ノ優越ナル勢力ニ慚ラス軍憲ニ快カラサル支那青年思想カ苦力等ニモ漸次普及シ上海事件ノ宣伝ニ激セラレ騷擾ヲ勃発セリト見ル方至當ナルカ如シ

右報告ス

本信写送付先 在支公使、上海總領事、天津總領事

五七二 七月九日(着)

在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

汕頭ノ対日英經濟絶交激化ニヨル在留邦人ノ

引揚ゲ等ニツキ申進ノ件

第二三號

(一)日英人トノ經濟絶交完全ニ行ハレ在留民ノ困憊甚シク一方海員ヲ初メ各種罷業団体及學生其他付近ヨリ入込ミタル不逞分子ノ脅迫跋扈暴ヲ極メ居ルノミナラス餌食ノ欠乏ト共ニ暴動掠奪ニ出ツルノ兆候アリ形勢益々惡化スル模様ニ付取締方嚴重交渉ノ手ヲ弛メス洪兆麟代表謝文炳ハ一兩日中戒嚴令ヲ布ク旨言明セルモ其實行甚タ心細ク在留民ノ家族中六割ハ既ニ台灣又ハ内地ニ引揚ケ其他モ形勢ニ依リ漸次帰国スルニ至ルヘク殘ル婦女子ト男子ハ領事館ヲ本陣トシテ持久的籠城ノ準備中ナリ

(二)許崇智側ト林虎トノ政權ノ授受未タ終ラス責任ノ擦リ合ニテ不安心ナル支那官憲ノ取締一段不徹底ナルモ本官及其他在留民ノ親交アル洪兆麟數日中來汕ノ由ニ付其ノ上ハ相当地意アル措置ヲ求メ得ヘシト信ス

(三)七月一日ノ事件ハ全ク罷業海員等無賴漢ノ暴行ニ付口頭

五七一 七月九日

幣原外務大臣ヨリ
在宜昌森岡領事宛(電報)

重慶ノ形勢急迫ノ場合居留民ノ收容保護等臨機最善ノ措置執行方訓令ノ件

第一二號

貴電第二七號ニ関シ

本大臣ノ訓令トシテ重慶ヘ左ノ通り転電アリタシ累次ノ貴電ニ関シ形勢急迫ノ場合ニ於ケル居留民ノ收容保護ニ付テハ貴官ノ裁量ニ依リ臨機最善ノ措置ヲ執ラレタク(右ノ旨夙ニ電報シ置タルモ為念再電)四囲ノ狀況ニヨツテハ必ラスシモ租界ヲ固守スルノ要ナク適宜ノ地ニ避難セラレ差支ナシ尚此種事項ニ関シテハ緊急ノ際一々請訓ニ及ハス

又中野ノ如キハ貴官ノ引揚勸告ニ応セス自己ノ責任ヲ以テ殘留スルモノト認ムヘク此ノ際一応再警告ヲ与ヘ之ニ応セサル時ハ政府ニ於テ保護ノ限りニ非サル旨申渡サレタシ北京、上海ニ転電セリ

及書面ヲ以テ嚴重支那側ニ抗議シ主謀者ヲ逮捕処罰スルコト損害賠償ノ責ニ任スルコト今後ノ治安維持ニ付全責任ヲ負フヘキコトヲ申入タル処大体ニ於テ之レヲ承認セリ
四在留本邦人ハ危險区域内ニ散乱居住シ英國人側トハ全然立場ヲ異ニシ英國側トハ同一ノ歩調ヲ取り得ヌ場合アルヲ免レス

転電先前電ノ通り

(海軍無線電信所取扱)

五七三 七月十日

在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

王司令ノ復職ニヨリ全般ノ形勢一転シ租界方面モ靜穩ニテ不安ナキニ至リタル件

第五三號

(七月十一日接受)

一般情報

一、王衛戍司令ハ八日軍艦鳥羽ニ小官ヲ來訪シ七夕刻暴民及劉成勳ノ敗兵租界ニ來襲中ナリ支那官憲ニ於テハ最早取締ノ誠意及実力ナシト認ム依テ不得止自衛ノ為武力ヲ用フルコトアルヘシトノ本官ノ通告ニ接シ直ニ省長劉

湘其他ト緊急會議ヲ開キ秩序維持ノ絶対權ヲ与ヘラレタルニ依リ今朝復職セリ此上ハ排外団ヲ解散シ秩序ヲ紊リ余ノ命ニ服セサルモノアレハ銃殺スヘシト語レリ王ノ復職ハ官憲力断乎タル措置ヲ取ルヲ意味スルモノナレハ暴民其他恐レヲナシ市中ハ各戸国旗ヲ掲ケテ祝賀シ全般ノ形勢一転セリ租界方面モ王司令ノ兵来着ト共ニ静穩トナリ何等ノ不安ナキニ至リタレハ租界ノ戒嚴ヲ解キ少数ノ衛兵ノミヲ止メ主トシテ王ノ兵ヲシテ境界線ノ防備ニ当ラシメツツアリ

二、鄧錫侯出征シ袁祖銘モ近ク出発ノ予定ナリ王ハ出征セス引続キ在任セハ最近ノ内排外運動ハ下火トナルヘシ尚英國側モ目下支那兵護衛シテ静穩ナリ
公使、漢口へ転電セリ

五七四 七月十二日 在漢口林總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漢口商總會ハ対英經濟絶交開始ヲ宣言シ明白
二日本ヲコレニ加ヘザルコトニ決定ノ件

第八八号

七月十一日ハ当地英租界暴動ノ一箇月ニ当ルヲ以テ支那側ニ於テハ武昌及漢口ニ追悼會ヲ催シ商總會ハ同日ヨリ英國ニ対スル經濟絶交開始ノ旨宣言セリ之等排英運動ハ先般段祺瑞ヨリ派遣セラレタル調査委員鄧漢祥等及湖北滯京同鄉會代表李書城等ノ刺戟ヲ受クルコト鮮カラサリシカ日本ニ対シテハ英國ト共ニ經濟絶交スヘシトノ伝單ヲ配布セルモノ多少ナキニアラサレトモ商總會等ニ於テハ明白ニ日本ヲ加ヘサルコトヲ決定シ居リ邦人ノ商取引ハ今ノ所円満ニ行ハレ居レリ

李書城等ハ同時ニ蕭督弁ノ措置不当ヲ攻撃シ蕭耀南排斥ノ陰謀ヲ企テルヤノ疑ヒアリテ官憲ハ依然嚴重ナル取締リヲ繼續シ居リ他面排英示威運動モ幸ニ拡大セラレスシテ済ミ居レリ

在支公使へ転電セリ

五七五 七月十二日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

王司令ノ排外団彈圧効ヲ奏シツツアル旨並ビ
二英國總領事館ガ掠奪ニ遇イタル等報告ノ件

第五四号

(七月十三日接受)

最近學生団主謀者十数名衛戍司令ノ手ニ捕縛セラレ童子軍ノ制服ハ全部沒収セラル新聞ハ依然暴論ヲ続ケ居ルモ着々王司令ノ彈圧効ヲ奏シツツアリテ物情漸次靜穩ニ向ヒツツアリ數日来ノ掠奪ニ依リ英人側ノ損害甚大ニシテ英國領事館モ亦掠奪セラレタルカ邦人側ニハ幸ニシテ損害ナシ
北京、漢口へ転電セリ

五七六 七月十三日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

四川省奥地ノ英國人引揚ゲニ関スル英國領事
内話報告ノ件

欠号

(七月十四日接受)

拙電第五七号ハ在成都英國領事カ英國公使ニ於テ今回ノ「トラブル」カ(一)長期ニ亘リ繼續スル見込ナルカ或ハ(二)將來重大ナル國際問題ヲ捲起スヘキモノナリト思考セラルルニ於テハ此(際)四川省奥地ノ英國人ヲ引揚ケシムル事然ルヘシ如何措置スヘキヤトノ請訓ニ対シ八日付ヲ以テ発セラレタルモノニシテ訓電ニハ「婦人子供全部及ナルヘク男

二 中国ノ排日排英運動狀況 五七六 五七七

子ヲモ引揚ケシメヨ」トアル趣ナリ尚四川省在住ノ英國人ハ重慶ヲ除キ約四百名アル由ニテ当地ヨリ汽船及砲艦各一隻ヲ叙州ニ派遣シ收容スル予定ナリト右ハ英國領事内談ノ要領ナルカ同領事及英國警備艦主任艦長ハ英國ハ火ノ燃エ熾ル間ハ隱忍スヘキモ時機ヲ見テ必ス嚴重ナル交渉ヲ開始スヘク断シテ支那ニ斯ノ如キ非法ヲ許ス事ナント信スト語リタリ片田舎ノ情報モ或ハ大局ニ關係アルヘシト存シ御參考マテ

在支公使、漢口、成都へ転電セリ

五七七 七月十三日 在成都榑松總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶事件ニヨリ再ビ成都ニ大々的排外運動ノ
企テアリシガ楊森ハ中止ヲ命ジタル件

第一四号

(七月二十一日接受)

最近重慶英兵、學生衝突事件ニ依リ当地在留英人ハ痛ク不安ヲ感シ居ルモノノ如クナル所英國領事内話ニ依レハ北京ヨリノ内命ニ依リ万一ヲ慮リ目下当地在留英人引揚ケノ準備中ナリト当地學生等ノ蠢動一時平靜ニ歸シタルモ重慶事

件ニ依リ再ヒ大々的運動ヲ起サントセル所楊森ハ之レニ中止ヲ命シ主動者二名ヲ憲兵隊ニ拉致拘禁中ナリ目下市中平穩在留本邦人異状無シ
在支公使、重慶ニ転電セリ

五七八 七月十三日 在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日英商店襲撃事件ノ交渉方ニ対シ請訓ノ件

第二七号

(七月二十二日接受)

往電第二一号ニ関シ
(編註)

(一)暴動首魁ノ(不明)処罰(二)損害ノ賠償(三)今後治安維持ノ全責任ノ三箇条ヲ挙ケ正式交渉ヲ開始セルモ第二項賠償請求權ハ之レヲ留保シ被害現場ノ会同検定ヲ申込ミ置ケル所本件暴動ハ地方的ト看做スコト不適當ナルノミナラス政局混乱ノ当地現状ニモ鑑ミ損害要償ハ他地方ノ分ト一括兩國政府間ノ直接交渉ニ移サルヘキモノト思考セラルル所如何取計フヘキヤ御電訓ヲ請フ
在支公使ヘ転電セリ

編註 電番、日付ガ前後シテイルガ其ノママトシタ。後掲五八五

次資金ノ窮乏ヲ訴ヘツツアルモ要スルニ当地ノ風潮ハ広東及香港ノ成行ニ支配セラレ相当永引クモノト信セラル
北京ヘ転電シ上海、福州、厦門、広東、香港ヘ暗送セリ

五八〇 七月十五日 在宜昌森岡領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

蕭湖北督弁ハ重要會議開催ノタメ総司令、各

師長ニ招電發出ノ件

第三〇号

(七月十六日接受)

蕭耀南ハ時局ニ関シ重要會議開催ノ為上游總司令及各師長ニ招電ヲ發シタルヲ以テ盧金山劉建章ハ兩三日中当地發武昌ニ向フ筈ナリ魏宗蓮ノ内話ニ依レハ段祺瑞及馮玉祥等ヨリ今回各省重要人物ニ対シ(一)各国在留民ノ生命財産ヲ十分保護スルコト(二)日本ヲ余リ宥メサルコト(三)英国政府ニ対シテハ飽迄強硬ナル態度ニ出ツルコト其他重要事項ニ関スル密電ヲ發シ来レル趣ニテ察スルニ本會議開催ハ中央政府ノ指図ニ依リ上海事件交渉ニ関スル支那地方有力者ノ態度ヲ決スル為ナルカ如シ
在支公使、漢口ニ電報シ上海ニ暗送セリ

五七九 七月十四日 在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

汕頭ノ排外運動ハ広東、香港ノ成行ニヨリ相当長期化スルモノト信ゼラルル件

第二八号

(七月二十一日接受)

其ノ後日英兩國側屢次ノ警告又ハ懇談ニ対シ謝文炳ハ全責任ヲ以テ治安ヲ維持スヘキコトヲ繰返スモ過激分子ノ反対ヲ恐レ戒嚴令ヲ布クニ至ラス路上人力車ヨリノ引卸シ携帯セル食料品強奪等ノ直接行動頻發シ又之ヲ利用スル盜賊出沒スルモ大体ノ形勢ハ暴動気分ヨリ持久的「ゼネラル、ポイコット、ストライキ」ニ移リツツアリ当館避難中ノ者モ被害者又ハ病人以外ノ者ハ各自宅ニ帰還セリ米等ノ食料品ハ台湾ヨリ取寄セ容易ナルモ肉野菜類ノ入手困難ニシテ人力車舳舻モ動カス停船二十隻其ノ罷業海員七八百ニ上ル日英貨排斥ニ付商人側ト工人学生側ト衝突シ外交後援会ハ商人新聞記者等ノ軟派ト工人学生等ノ硬派トノ間ニ内訌ヲ生シタルモ目下ノ所硬派ノ氣勢強シ罷業者総數五千ヲ算シ漸

五八一 七月十五日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

邦人ノ雇用中国人ニ対スル殴打事件ニヨリ折角平靜ナル蕪湖ノ形勢ニ多少影響ナキヤ懸念セラルル件

第三二号

(七月十六日接受)

当地近海郵船会社ノ一店員ハ昨十四日夜半飲酒ノ上些細ノコトヨリ其ノ使用支那人ヲ器物ニテ殴打シ頭部其他ニ稍重キ切傷ヲ負ハセ被害者ハ其ノ同僚多數ニ援ケラレ支那警察署ニ出訴シ同時ニ外交後援会ノ援助ヲ要求シ時局ニ結ヒ付ケ有利ノ解決ヲ計リツツアリ本件ハ直ニ支那側ト打合セ其援助ヲ受ケ会社内部ニ於テ至急解決セシムル様尽力中又当地新聞社及外交後援会ヘハ支那(側)ノ手ヲ經テ時局ニ惡影響無キ様手配済ナルモ被害者側ノ鼻息荒ク折角平靜無事ニ帰シ居ル当地ノ形勢ハ多少ノ変化ヲ見且他ニ影響スルナキヤヲ懸念シ居レリ
在支公使ニ転電シ上海、漢口、九江、南京ニ暗号ノ儘郵送セリ

五八二 七月十六日 在南京近藤領事館事務代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

南京ニ於ケル邦人商店主ニ対スル中国人暴行
等ニツキ報告ノ件

第五八号 (七月十七日接受)

当地ノ状況ハ其後平静ニ赴キツツアリシ所四十余日ニ亘リ
閉店シ居タル邦人各商店ハ支那側ヨリ確實ニ保護スヘキ旨
ノ保障ヲ得タルヲ以テ十五日ヨリ一斉ニ開店セリ然ルニ同
夜八時半城内藤井洋行ノ主人カ店ヲ閉サントセル際一支那
人カ店内ニ押入ラントスルヲ以テ之レヲ制シタル所該支那
人ハ向側ナル餛飩屋ニ入り二尺余ノ麵棒ヲ持来リテ突然同
人ヲ乱打セリ同人ハ其麵棒ヲ奪ヒ取りテ屋内ニ遁ケ込ミタ
ルニ門前ニ多数ノ支那人集マリテ喧噪ヲ極メ危険ノ状態ニ
陥リタル所警察署ヨリ巡警ヲ派シテ群衆ヲ解散セシメ漸ク
事ナキヲ得タリ尚藤井ハ負傷ヲ免レタルモ警察ヨリハ署員
ヲ派シテ見舞ヲ述ヘタリ又前日来学生団ニ依リ施行サレ居
タル貨物ノ検査ハ今尚続行セラレ十五日朝邦商大倉洋行ノ
貨物生牛皮四十余捆ヲ小船ニ積載シ浦口ヨリ下関日清汽船
「ハルク」ニ横付ケシ荷揚げニ從事中学生風ノ者二三名来

処格別懸念ナシト認メ居ルモ糧食買入及使傭人ノ迫害ハ一
層深刻トナル形勢ナリ
在支公使ニ暗送セリ

五八四 七月十八日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

邦人ノ中国人殴打事件ニ関シ被害、加害両者
妥協成立セルモ被害者側ハ外部ノ圧迫ニヨリ
コレヲ発表出来ザル件

第三六号 (七月十九日接受)

当地邦人加害事件ハ被害者及加害者双方ノ妥協成立セルモ
被害者側ハ外部ヨリ圧迫烈シク之ヲ発表スル事モ出来ス当
地道尹ノ尽力ニテ調停運動中市内ノ形勢ハ稍緩和シ邦人使
用支那人ハ一昨日来二回會議ヲ開キ罷業ヲ企テ居ルモ纏マ
ラス糧食ノ買入ハ格別不自由ナキニ至レリ
北京へ転電シ南京、上海、漢口、九江へ暗送セリ

リテ船頭ヲ脅迫シ下流ニ回航セシメ之レヲ差押ヘタルヲ以
テ支那側ニ交渉中ナルモ未タ解決セス右ニ依リ小官本日交
渉員ヲ往訪シ極力事件ニ関シ犯人ヲ処罰シ一層取締リヲ嚴
重ニスル様申込ミ置ケリ尚邦人商店ハ前記藤井洋行ヲ除ク
外全部閉店シ居レリ

北京へ転電シ上海、漢口、宜昌、九江、蕪湖、蘇州、杭州
へ暗送セリ

五八三 七月十六日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

蕪湖邦人及ビ其ノ使用人ニ対スル糧食買入ノ
妨害等報告ノ件

第三四号 (七月十七日接受)

当地邦人ノ加害事件ニ関シ当地近海郵船ノ主任南京ニ在リ
今朝迄帰来セサル為メ被害者側トノ折合纏ラス且当地鎮守
使ハ蚌埠ニ交渉員ハ北京ニ在リ共ニ不在ニシテ被害者及外
交後援会側ヘノ押ヘ出来ス邦人使傭人ニ対スル脅迫糧食買
入ノ妨碍ハ昨夕来俄ニ旺トナリ民心亦著シク險惡ノ徴アリ
邦人ノ生命財産ハ警察官及軍ニ依リ保護ノ手配アリ目下ノ

五八五 七月二十一日 在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

ボイコットノ目標ハ漸次英國ニ移リタルモ我
方ハ此ノ際英國側ニ捲込マレザル様冷静ナル
態度ヲ取リツツアル件

第二〇号 (七月二十二日接受)

広東事件以来国交断絶開戦等ノ謠言起リ形勢面白カラス暴
動等万一ノ場合ニ処スル手配ヲ了セリ在留民中暑中休暇ヲ
利用シ帰国スルモノ多キモ国民党軍ノ引揚ケハ幸運ニシテ
又外国租界ノ無キハ寧ロ幸ノ感アリ目下ノ処險惡ナラス停
戦状態ニ交通不便日英人ニ対スル「ボイコット」モ着々進
行中ニシテ攻撃ノ目標ハ漸次英國ノミニ移リ親日排英ヲ唱
フルモノ日ニ多シ此ノ際英國側ニ捲込マレザル様冷静ノ態
度ヲ取リツツアリ軍艦駒橋三十日更ニ入港七月三日広東事
件追悼示威巡行アル予定ニシテ多少ノ危険ヲ予想シ警戒中
ナリ

北京、上海、福州、廈門、広東、天津へ暗送セリ

五八六 七月二十二日（着） 在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

中国側過激ノ一団ハ排日英運動ヲ利用シ日英
商店ヲ襲イタルタメ日英人側ニ被害アリタル
件

第二一号 （海軍無線經由鳳山発）

七月一日夜九時過ヨリ排日英運動ヲ利用スル不逞支那人ノ
一団暴徒化シ幹事ヲ合シ三四千名日英商店ヲ襲ヒ破壊掠奪
ヲ恣ニシ被害英國籍民三ヶ所日本内地人四ヶ所台灣籍民二
ヶ所日本人側損害約三四万弗当館ノ嚴重ナル抗議ニ依リ支
那官憲ノ取締モ其ノ効ナク午前二時漸ク自然退散セリ邦人
ハ全然無抵抗主義ニテ逃ケタル為死傷者ナシ

（不明）未定警察力及兵力頗ル手薄ニシテ治安ノ実力ヲ認
メ得サルヲ以テ在留民ノ殆ト全部ハ当館ニ避難セリ二日ヨ
リ日英使用人全部罷業形勢頗ル險惡陸戰隊ハ二日夜ノ模様
ニ依リ日英米三国領事協議ノ上出動スルニ決定セリ

北京へ転電シ上海、福州、厦門、広東、香港へ暗送セリ

五八七 七月二十三日 幣原外務大臣ヨリ
在汕頭内田領事代理宛（電報）

日英商店襲撃事件ノ交渉方ニツキ訓令ノ件

第一一号（極秘）

貴電第二七号ニ関シ

要償問題ハ貴地状況ニ応シ地方的ニ解決シ得ル見込アルモ
ノハ遲滞ナク解決ヲ謀ラレ度尤モ本件ハ今次事変ニ対スル
支那政府ノ一般責任問題ト共ニ北京ニ於テモ商議スルコト
アルヘキニ付右ニ御含ミアレ

北京へ暗送セリ

五八八 七月二十三日 在蕪湖藤村領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

邦人ノ中国人殴打事件ニ関シ加害者ヲ転任セ
シムルコト、被害者ニ見舞金ヲ送ルコトニツ
キ交渉員ト折衝ノ件

第三八号 （七月二十四日接受）

当地邦人ノ支那人殴打事件ニ対スル当地民心ノ緩和ハ道尹
カ急ニ安慶ニ赴キタルト学生側ノ要求過大ニシテ行惱ミ居

五八九 七月二十三日 在福州栗原総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

福州ニ於ケル排外運動情況報告ノ件

付属書 福州排外運動經過概要（七月二十一日調）
機密第五六号 （八月十七日接受）

大正十四年七月二十三日

在福州

総領事代理 栗原 正（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

福州ニ於ケル排外運動經過概要報告ノ件

上海事件ノ影響トシテ当地ニ勃発セル排外運動ハ六月五日
ノ全市学生連盟休校及七日ノ学生遊行ニ端ヲ発シ爾後各種
ノ示威的運動行ハレ一時頗ル不穩ノ状況ニアリタレトモ支
那側ノ誠意アル取締ト外人側ノ慎重ナル態度等ニ依リ辛シ
テ危険期ヲ切抜ケ事無キヲ得ルト共ニ漸次静穩ニ赴キ引続
キ小康ヲ得居ルニ付隨時電報及公信ヲ以テ詳細及報告置タ
ル次第アルモ茲ニ重複ヲ顧ス為念經過概要別紙ノ通報告ス

本信写送付先 在支公使、奉天、天津、青島、濟南、上
海、漢口、広東、厦門、南京、九江、重慶、汕頭、台

リタルカ交渉員一昨夜帰来シ今二十三日本官ヲ来訪シ本件
ハ当地近海郵船会社カ自ラ藤森ヲ他ニ転任セシメ又被害者
ニ見舞金（金額ハ加害者ヨリ百弗支出スルコトニ被害者ト
協定済）ヲ贈ル程度ノ条件ヲ以テ解決シタキモ当地ヨリ藤
森ヲ退去セシムルハ斯ル人物ヲ当地ニ置クハ両國人ノ感情
ヲ乖離セシムル虞アリ本官ヨリ会社ニ命令措置セシメタル
意味ヲ本官ヨリ交渉員宛公文通知スルカ或ハ交渉員ヨリ之
ヲ要求シ本官ハ既ニ会社カ既ニ自動的ニ之ヲ実行シ其妥当
ナル措置ナリト承認シ居ル意味ノ公文ヲ交換スル様致シタ
キ旨申出テ本官ハ居住ノ自由ヲ奪フコトハ重大問題ニシテ
承諾シ難キモ会社自身カ本人ヲ退去セシムルコトハ適當ノ
措置ト認メ居レリ唯公文交換ハ熟考スヘシト答ヘ置キタリ
右交渉員ノ申出ハ二者何レニスルモ此程度ニ於テ速ニ本件
ヲ解決スルコト大局上必要ト思ハルル処至急何分ノ御指揮
ヲ請フ

北京へ転電セリ

灣總督

(付屬書)

福州排外運動經過概要

(大正十四年七月二十一日調)

一、事件ノ經過

当地学生連合会ハ上海事件ヲ以テ最初日本關係ノ事件トノミ思込ミタル模様ニテ我方ニ對シ種々不穩ノ言動ニ出テムトシ現ニ本官ニ對シ六月一日付ヲ以テ別紙写ノ如キ脅迫狀ヲ寄セタルカ事件ノ真相判明スルト共ニ目標ヲ改メ頻リニ各學校生徒及父兄ヲ脅迫シ同盟休校方ヲ強要スルニ至リタル結果五日頃ヨリ各學校生徒一斉ニ休校シ予定通り七日学生団ノ示威遊行舉行セラル然レトモ学生側ハ当日遊行ニ参加セル学生僅ニ六七百名ニ過キスシテ意氣揚カラサリシニ焦慮シ更ニ商總會ヲ始メ市内各界ニ迫リ宣伝遊説ノ結果十日ヲ期シ各界連合示威運動ヲナスニ決シ同日予定通り百七十余隊約一万ノ男女市内ヲ遊行シタルカ官憲ノ警戒宜シキヲ得タルカ為何等事故無ク無事散会シタリ

其後学生団ヲ始メ各団体頻リニ会合ヲ重ネ国民外交後援

商人側ノ態度煮エ切ラサリシ為殆ント実績拳ラス其儘トナリ居レリ然レトモ一般ノ形勢常ニ緊張シ居リタルカ為支那商人中日本品ノ取引ヲ躊躇スルモノ尠カラス自然商談中止輸入見合せ等間接ニ損失ヲ招クニ至リタルモノ相當ノ額ニ上ルヘキハ之又言フヲ俟タル所ナリ其他本項ニ就テハ委細屢次ノ本官報告御参照アリタシ

三、本官ノ措置

本件力(一)支那ノ国民的運動トモ認ムヘキ重大問題ナルコト(二)大局上絶対ニ事件發生防止スル必要アルコト(三)租界ヲ有セサル当地ニ於テハ一ニ支那側ノ誠意アル保護取締ニ信頼スル外ナキコト等ニ顧ミ早キ目ニ支那側ヲ歴訪事件ノ性質ヲ説明シ邦人保護ニ関スル支那側ノ責任及排外団ノ取締等ニ付深甚ナル考量ヲ促スト共ニ他面在留民ヲ率ヒ只管隱忍自重シ其間本運動ヲ殊更排英ニ向ハシメ將又日支親善ニ利用セムトスルカ如キ小策ヲ戒ムルニ努メ居レリ尚本件勃發當時馬公要港部ヨリ同部所屬艦隊六月下旬ヲ期シ当地ニ回航ノ予定ナル旨通報ノ次第アリタルカ右ハ却ツテ徒ラニ学生団等ノ反感ヲ招キ事端ヲ繁クスル虞ナシトセサルヘク不得策ト認メタルニ

会ナルモノヲ組織シ排外運動ヲ統一スルト共ニ日英人ニ對スル食料供給妨害「ボーイ」「コック」苦夫及事務員ニ對スル罷業脅迫日英貨排斥等相繼テ行ハレ且外國人迫害ニ関スル種々ノ謠言伝リ不安ノ狀況ニアリタル外張り紙、伝單、路頭演舌等ニ依リ盛ニ排外的氣勢ヲ高メ不平等条約撤廃ヲ高唱シ市内各新聞モ筆ヲ揃ヘテ排外団ヲ激勵煽動シ極端ナル宣伝ニ努メ居リタルハ勿論引續キ第三次市民示威遊行ニ出テムトシ再三協議計畫スル所アリタルカ官憲ノ態度嚴重ナルニ加ヘ一般市民ノ情熱漸次冷却シ其都度延期ノ已ムナキニ至リ曩ニ實行ノ歩ヲ進メ居リタル備用支那人ノ罷業脅迫及日英貨(殊ニ木綿類)排斥策モ中途半端ノ内ニ実行力ヲ失ヒ有耶無耶トナリ其間殆ント外國人ノ生命財産ニ對スル直接行動ト認ムヘキモノナク無事今日ニ及ヘリ

二、日英貨排斥、雇用支那人罷業

当地排外運動ハ前記六月十日ノ示威運動直後約十日間ヲ絶頂トシテ漸次平穩ニ赴キ其間多数ノ「ボーイ」使用人等ノ罷業ヲ見博愛医院、個人商店等一時多大ノ不便支障ヲ蒙ルニ至リタル外格別ノ影響ナク日英貨排斥策モ支那

付六月九日之カ来航暫時見合せ方電照シ置タル処周督弁モ我方ノ態度ニ感動シタル趣ニテ一層ノ誠意ヲ披瀝シ保護取締ニ任スルコトトナレリ其後九江事件等勃發シ前途図リ知ルヘカラサル形勢ト相成リタルニ付早速周督弁ヲ往訪シ蒼前山方面ニ對スル軍隊ノ増派及万一ニ備フヘキ電話連絡等ヲ要求シタル処一々我方ノ希望ヲ快諾セラレ警備及取締上先ツ遺憾ナキヲ得ルニ至レル次第ナリ

四、支那側ノ態度

六月七日及十日ノ遊行ニ際シ多数ノ軍警ヲ派遣シ警戒ニ努メタルハ勿論日英領事館其他所要所ニ兵員ヲ配置シ万一ニ備ヘタル外蒼前山方面ニハ其儘約百五十名ノ軍隊ヲ駐屯セシメ引續キ警備ノ任ニ當リ六月十六日更ニ本官ノ要求ニ基キ兵員ヲ三百名ニ増加スルニ至レルハ前述ノ通ナリ右ノ外薩省長モ警察厅长ニ命シ軍隊ト協同取締ニ努メ学生団ノ行動等ニ對シテモ注意ヲ怠ラス措置宜シキヲ得タル様觀察セラル現ニ学生不良分子等ハ官憲ノ取締嚴重ナルカ為市内及近郷各所ニ分散止宿スルノ已ムナキニ至レル模様ニテ著シク活動力ヲ殺カレタルヤノ感アリ尚学生団カ日英人ノ食料品買込ミヲ妨害シ始メタル際ニ

モ進ンテ警察側ヨリ之カ買込ミニ当リ差支ナシト申出テタルコトアルノミナラス周蔭人ハ特ニ李省防司令ヲ排外各団ノ協議会ニ臨席セシメ学生側ノ不心得ヲ警メタルコトアリ之ヲ要スルニ当地官憲ニ於テモ今次ノ運動ヲ以テ愛國ノ至情ニ出ツルモノトナシ大体ニ於テ黙認ノ態度ヲ取リツツアルハ言フヲ俟タサル所ナルカ常軌ヲ逸セル妄動ヲ戒メ事故發生ヲ防止スルニ努メ我方ノ申出ニ対シテモ其都度好意的考量ヲ加ヘ誠意ノ認ムヘキモノアリタルハ事実ナリ

以上

(別紙)

中華民國福建學生連合會為此次日本在中国上海之内外綿紗廠慘殺工人案告 駐閩日領事日年来貴國以帝國主義侵略之手段加我中華備矣至矣我中華國人臥薪嘗胆日夜不忘貴國之厚施与夫蕩滌垢穢也貴國政府当熟知之乃者上海綿紗廠慘殺工人一案發生足徵貴國之冥頑不靈其蔑視公理压迫勞工之罪惡實至大無比本會深維終始積憤沸騰計必徹底一洗雪之用特函告

貴領事当知公理不磨強權無終幸無謂弱民族可欺而無重大之反響也血淚澎湃益決心先此預告請俟其他無謂我中華民國

五九一 七月三十日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

英國人引揚ゲニ向イタル英砲艦ガ瀘州通過ノ
際楊森部下ガ發砲シタル事件並ビニ學生等ハ
本件ヲ利用シ騷擾計画ノ件

第六四号

(七月三十一日接受)

一般情報

一、往電第五九号ニ関シ四川内地在住英國人引揚ニ向ヒタル砲艦及二汽船ハ本月瀘州ノ下流通過ノ際楊森部下ノ兵士之ニ向ケ發砲セル為英艦ハ直チニ機関銃ヲ以テ応戦シタル事件アリ損害ノ程度等未タ詳細ニ接セス又支那側ニ就キ調ヘタルモ敵地内ニ起リタル事件ナルヲ以テ詳細分明セサルカ新聞紙上ニハ種々誇大ナル報道アリ學生等ハ本件ヲ利用シ外國軍艦カ重慶上流ニ上リタルハ不法ナリトシ更ニ一騒ヲ演セント準備中ナリト英艦ハ数日内ニ帰還ノ答ニ付本件実状追テ電報ス

二、戦争ハ重慶連合軍多少有利ニシテ目下内江ヲ攻撃中ナリ瀘州、自流井各地尚楊森ノ手ニ在リ一方合川ニ於テ楊森側勝利ヲ博シタリトノ情報アルモ一般勝敗未タ逆睹シ難シ

無人焉幸甚

大中華民國十四年陸月杳日中国福建學生連合會謹告

五九〇 七月三十日 在重慶加來領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶城内ノ交通居住等大体安全トナリタル旨
報告ノ件

第六三号

(七月三十一日接受)

城内ノ交通居住其他一般ニ大体ニ於テ安全ト認メタルニ付避難者中日本側ノ武力ニ依ル保護ヲ期待セス自己ノ危険ニ於テ帰城セントスルモノハ之レヲ許可スルコトナシタル所二十九日迄ニ九名帰城セリ右ニ付王陸基及袁警察庁長ト熟議ヲ擬ラシ城内ニハ単ニ居住スルノミニテ当分營業ヲ為ササル了解ノ下ニ支那側ニ於テ保護ヲ全フスヘキ誓約ヲ取付ケ一方ニ篠本及丸尾ヲ帰館セシメテ保護ノ任ニ当ラシムルコトトセリ

北京ヘ転電セリ

在支公使、漢口ニ転電セリ

五九二 八月十三日 在厦門井上領事ヨリ
幣原外務大臣宛

厦門ニ於ケル罷工ハ立消トナルモノト見ラレ
軍艦ノ来援モ不用トナリタル旨報告ノ件

機密第八〇号

(八月二十六日接受)

大正十四年八月十三日

在厦門

領事 井上 庚二(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

上海事件ノ影響ニ関シ統報ノ件

一、七月三十一日ノ後援會ニ於テ罷工実施ニ決定シ其開始期日ヲ一週間内(即チ八月七日迄)ト定メタルコト並其後支那当局ノ治安責任者指定要求ニ依リ一大頓挫ヲ来シタル次第ハ前報具申ノ通ナル処本月八日同會會議開催官憲側ヨリモ数名列席ノ上再度責任者ノ指定ヲ要求シ各自討論ノ揚句

罷工問題ハ各自ノ愛國心ニ訴ヘ自発的ニ之ヲ行フコト

罷工ノ結果救済ヲ要スル者ニ対シテハ後援会之カ救済ニ膺ルコト

ヲ議決散会セル処右ハ後援会ニ於テ罷工宣言ノ為困難ナル責任問題ノ惹起スヘキヲ回避シ間接ニハ自発的罷工ノ実現ヲ至難ナラシメ罷工ヲ中止セシメル為ノモノニシテ右議決ノ結果当地罷工ハ既報幾多曲折ヲ経タル末此儘立消ト成ルヘキ運命ニ仿着シタリト看テ誤ナカルヘク爾来今日迄各般ノ情形ヲ觀察スルニ洋務華員初メ日英關係員罷工ノ可能性幾ント無之ク左傾新聞紙復タ罷工ヲ説カサルニ至レリ

二、右様ノ次第二付軍艦夕張ハ当分来援ヲ要セサルコトト成レリ尤モ英米艦引続キ碇泊中

三、右後援会会合ニ於テハ更ニ

イ、日英船舶ノ荷役ハ引続キ之ヲ行ハサルコト

ロ、従来後援会ニ登録セル日英貨物ニテ八月一杯ニ到着セル分ニ対シテハ二割十月以後ハ全然入荷ヲ許ササルコト

ハ、日英ノ石炭ニシテ日英以外ノ船舶ニ依リ輸入セルモノニ対シテハ一屯ニ付銀二弗ノ罰金ヲ課スルコト

ノ件

機密第五八号

(八月二十九日接受)

大正十四年八月十八日

在汕頭

領事代理 内田 五郎 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

罷業資金付貨物輸入方ニ関シ請訓ノ件

当地ノ「ボイコット」及「ストライキ」ニ付テハ罷業団ノ勢力絶大ニシテ官憲ヲ無視シ軍憲ヲ脅シ勝手ナル課金、罰金等ヲ徵集シ相当ノ収入アリ且又官憲ハ市民ヨリ家屋税ノ五割(月割約二万五千円)ヲ増徴シ之ヲ罷業団ニ供給スル等ノ積極的援助ヲ為シ居ル為メ彼等ノ財力ハ相当強固ニシテ罷工、罷市カ此方面ヨリ崩ルルコトハ目下ノ処望ミナク只期スル所ハ罷業団内部ノ内訌ト物資ノ窮乏及之ニ依ル物価ノ暴騰ニ基ク一般商民ノ反抗運動ノミト認メラレ物資ノ窮乏ハ相当切迫シ物価ハ平均三四割方騰貴シ殊ニ石炭ハ日英品ニ依ル外ナキ為メ頗ル欠乏ヲ告ケ居タル処最近神戸相沢岩吉所有第二十五相沢丸ハ当地支那人荷主ノ注文ニ依リ基隆ヨリ石炭千五百噸ヲ積ミ来リ支那人荷主ヨリ外交後援

ニ、薬品モノト同様但シ罰金ヲ一割トス
ホ、肥料ハ制限ナシ

(註) (イ)、(ロ)ト雖モ日英船積込ノ分ハ荷役セスノ諸点ヲ決定シタル処当分本邦品ニ対スル「ボイコット」ハ此程度ノ勢ヲ以テ進行スルモノト断定シ得ヘシ

四、要之当地排日英風潮ハ右ヲ以テ全ク固定の持久戦ニ入り日英貨物ハ当分入荷少ナルヘク本邦商店ハ閑散ヲ繼續スヘキモ既報林仲馥事件ノ反動ナキ限り暴動等ノ予見モ余程緩和セラルルニ至レリ

五、邦人商店ニ対スル見張ハ最近全然其迹ヲ絶チタル処右ハ当館累次ノ交渉ニ依リ官憲側ニテ保護ニ充タリタルト過般特別戒嚴令ヲ布キテ兇器所持者ヲ検束シ始メタルトニ基因スヘシ

本信写送付先 在支公使、上海、福州、汕頭、広東総領事、台湾総督、馬公要港部司令官

五九三 八月十八日

在汕頭内田領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

罷業資金ノ支払イニヨル營業行為ニツキ請訓

会、罷業委員会其他顔役ニ対シ合計約一万弗ノ金錢ヲ提供シ荷揚ケヲ了シタル為メ在留邦人及英國人間ニハ相沢丸ハ間接ニ支那側ニ物資ノ外罷業資金ヲ供給シ排日英運動ヲ援助スルモノナリトノ非難ノ声高ク英國領事及在留邦人側ヨリ本官ニ対シ何等カ取締方ニ付考慮ヲ煩シ度キ旨申出テ来レリ

調査スルニ右支那人荷主カ罷業資金等約一万弗ヲ提供セルハ事実ナルモ外交後援会側ハ石炭ノ売捌価格ニ制限ヲ付シ荷主ハ右ノ如キ巨額ノ罷業資金ヲ支払ヒテハ到底算盤採レス今後再ヒ如斯輸入ヲ企ツルコトナカルヘシト思料セラルルト共ニ支那人荷主ノ納金ハ日本官憲ニ於テ取締ルノ途ナク又船会社ノ貨物輸送ハ日支通商禁止セラレサル限り絶対ニ干涉シ得ヘキモノニ非ス結局本件ハ商人各自ノ自制ニ待ツノ外ナシト思料セラルルノミナラス在留邦商中ニハ相沢丸ノ例ニ依リ營業ヲ為シ度キ希望ヲ有スル向モアリ右方法ニ依ル貨物ノ輸入ハ漸次本邦品ニ対スル「ボイコット」気分ヲ緩和シ日貨輸入ノ復活ヲ招致スル糸口トモナルヘク終熄期ノ予測シ得サル對峙現状ヲ維持スルコトハ在留邦商ノ頗ル苦痛トスル所ナルヲ以テ罷業資金ヲ支払ヒテモ利益ア

ル營業ハ之ヲ為スコト寧ロ可ナルヘシト思料セラルルモ一般貨物カ罷業資金付ニテ輸入シ得ルニ非ス其都度外交後援會側ノ決議ニ依リ一部商品ノミニ限ラルル現在ニ於テハ頗ル不公平ナル結果トナリ多クノ不平者ヲ出スコトナルヘキモ是レ寔ニ止ムヲ得サル次第ニ付本官トシテハ罷業資金付ニテ營業ヲ為スコトニ異議ナキ方針ノ下ニ各自ノ自由行動ニ任スコトト致シ度キ所存ナルモ在留民間ノ意見ハ兩派ニ分タレ重大化スル虞モアルニ付一応省議御垂示ヲ得度此段請訓ス

追テ郵便運延勝ニ付御回訓ノ要旨ハ電信ニテ願ヒ度シ

編註

右請訓ニ対シ幣原外務大臣ヨリ九月八日發第一四号ヲ以テ「貴見ノ通り措置セラレ差支ナシ」トノ回訓ガアツタ

(4) 廣東・香港

五九四 六月四日

在廣東清水總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

廣東政府ガ上海事件ヲ契機ニ関稅差押エ等外人ニ対シ暴挙ニ出ツベキニツキ警戒方英總領事演說ノ件

第七二号

(六月二十一日接受)

当地博愛會医院會計係

ナカダイ

某ナルモノカ二十日午前十一時

過台灣銀行ヨリ現銀五千弗ヲ受取り之ヲ鞆ニ入レ携帶單身沙面居留地仏蘭西租界ヲ出ツルヤ突如一名ノ支那人ノ為拳銃ニテ射撃セラレ本人ハ直ニ居留地内ニ逃込ミタルモ彈丸二発左胸部ニ命中シタル為手当ノ術ナク約十分ニシテ絶命セリ事態ノ重大ナルニ鑑ミ早速電話ニテ公安局員ノ来(脱)ヲ求メ詳細事件ノ顛末ヲ説明シ檢死ニモ立會ハセ改メテ公文ヲ以テ交渉員ニ対シ嚴重交渉シ置キタルカ猶本日午後小官胡漢民ヲ訪問シ嚴重申入ルル筈

右ハ單純ナル強盜行為ニシテ排外運動ニハ關係ナキモノト認メラルルモ時節柄慎重取調ノ步調ヲ進ムル心算ナリ公安局員ハ戦亂直後ノコトトテ警察ノ手薄ナリシコトヲ自認シ本件ノ發生ヲ痛ク恐縮シ居レリ本件ヲ大袈裟ニスルコトハ成ルヘク避ケタキニ付新聞通信員ニ対シテハ可然注意シ置キタリ

北京、上海、香港へ転電シ福州、厦門へ暗送セリ

(七〇七)
第五七〇号

五二〇
(六月五日接受)

当地地方ノ政局ハ不穩ニシテ民党幹部其他不穩分子ノ側ニ学生労働者等ヲ煽動ノ余裕無キ為上海ニ於ケル今回ノ事件ハ今日迄ノ処当地ハ左シテ憂フヘキ影響ナキカ如シ昨三日ノ晚餐會ニ於テ首席英國總領事ハ民党政府力再ヒ権力ヲ盛リ返スニ於テハ当地支那人ハ本件ヲ切掛ニ関稅ノ差押其他外人ニ対シ何等ノ暴挙ニ出ツルナキヲ保シ難キニ付外国人側ハ相俱ニ此際警戒ヲ要スト一場ノ演說ヲ試ミタルカ右ハ此機會ニ於テ民党ニ対シ一層強硬ナル態度ニ出テントスル英國側ノ魂胆ヲモ含ムモノナルヘク米國總領事ニ於テハ強イテ事ヲ大袈裟ニ吹聴スルモノトシテ憤慨ノ口吻ヲ漏シ居レリ

在支公使、上海ニ転電シ香港、汕頭ニ暗送セリ

五九五 六月二十日

在廣東清水總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

現金携帯セル邦人ノ医院會計係沙面仏國租界附近ニテ中国人ニ射殺セラレタルガ時節柄慎重取調ベノ件

五九六 六月二十一日

在廣東清水總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

沙面居留地内ノ使用中国人ハ全部罷業シ沙面ヲ退出ノ旨並ビニ在留民ハ罷業長期化ニ備エ糧食ノ蒐集等奔走ノ件

第七三号

(六月二十一日接受)

昨二十日香港廣東ニ英國船乗組支那人ノ罷業ヲ手始メトシ沙面居留地内ノ使用支那人ハ本日夕刻迄ニ全部罷業沙面ヨリ退出セリ支那町在任外国人使用支那人モ亦統々罷業ヲ強制サレツツアルモノノ如ク支那町在任邦人ノ大部分居留地内ニ避難セリ糧食ノ買入レ困難ナルモ玆數日ハ別段心配ナシ在留民比較的冷靜罷業ハ相当長引クモノト見テ沙面内ニ籠城ヲ覚悟シ夫々委員ヲ設ケ部署ヲ定メ糧食ノ蒐集避難者ノ収容焚出シ等ノ準備ニ取り掛レリ

北京へ転電シ香港、上海、福州、汕頭、厦門へ暗送セリ

五九七 六月二十二日

在香港村上總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

香港罷業ノ邦商ニ及ボス影響ニ関シ報告ノ件